

石油給湯機付ふろがま 取扱説明書（保証書付）

製品名

OTQ-G4706W-RC BL
OTQ-G4706W-RC
OTQ-G4706WS-RC BL
OTQ-G4706WS-RC
OTQ-G4706WFF-RC BL
OTQ-G4706WFF-RC
OTQ-G3706WFF-RC BL
OTQ-G3706WFF-RC

はじめに

ご使用前に

お湯・シャワー

お風呂

その他の機能

エネルギー

ユーザー設定

必要なとき

困ったとき

ご参考



この取扱説明書の見かた

このたびは弊社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、別売品の取扱説明書がある場合は、必ずそちらも併せてお読みください。
- 保証書(裏表紙)は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。
- この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。

絵表示の説明

- 》**しくみ** リモコンや石油給湯機付ふろがまのしくみ **注意** ご注意ください
 ★**ヒント** 使いかたのヒント **参照** 参照先 または 参照ページ
台所 **浴室** その設定ができるリモコンを示しています

文中の(P○)の数字は参照ページを表します

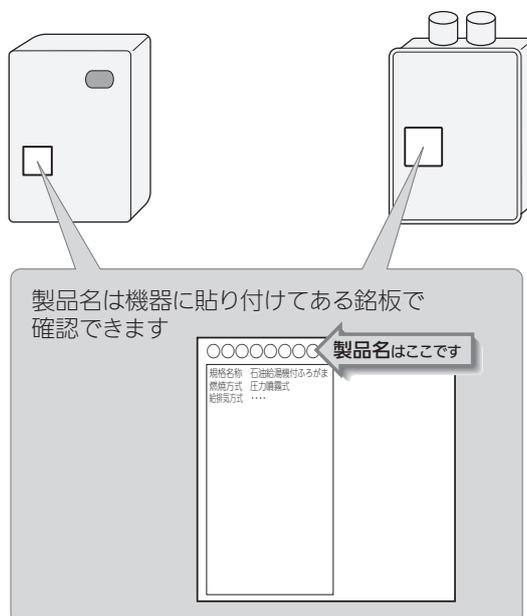
説明中のリモコン表示画面は一例です

実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

製品名の確認のしかた

【屋外設置形の場合】

【屋内設置形の場合】



この給湯機の特徴<節電・省エネするためには>

この給湯機は、電気ヒーターの熱で灯油をガス化して燃焼するしくみになっています。

運転スイッチを「入」にしてから、お湯・お風呂が使えるようになるまで時間がかかります。(約1分40秒)
これを「予熱」といいます。

運転スイッチ「入」の間は、常にヒーターをあたためているため、消費電力がかかります。

待ち時間をなくすために

消費電力を減らすために

お好みの時刻に自動的に運転スイッチ「入」にできる
「予熱予約」(P32)

機器を使用しないときに自動的に運転スイッチ「切」にできる
「省電カタイマー」(P41)

これらの機能を、お好みで組み合わせてお使いください

設定しない場合	<p>使うとき</p> <p>手動で</p> <p>運転 入/切</p> <p>入</p> <p>使い終わり</p> <p>手動で</p> <p>運転 入/切</p> <p>切</p>	<p>使いやすさ</p> <p>△待ち時間あり</p> <p>×切り忘れあり</p>	<p>省エネ性</p> <p>◎</p> <p>(使用後 運転スイッチを 切り忘れると×)</p>
おすすめ 予熱予約と 省電カタイマー の設定	<p>使うとき</p> <p>設定時刻に 自動で運転「入」</p> <p>予熱予約</p> <p>使い終わり</p> <p>○時間後 自動で運転「切」</p> <p>省電カタイマー</p>	<p>使いやすさ</p> <p>◎待ち時間なし</p> <p>◎切り忘れなし</p>	<p>省エネ性</p> <p>○</p> <p>(使用後すぐに 運転スイッチを 手動で切れば◎)</p>
省電カタイマー のみ設定	<p>使うとき</p> <p>手動で</p> <p>運転 入/切</p> <p>入</p> <p>使い終わり</p> <p>○時間後 自動で運転「切」</p> <p>省電カタイマー</p>	<p>使いやすさ</p> <p>△待ち時間あり</p> <p>◎切り忘れなし</p>	<p>省エネ性</p> <p>○</p> <p>(使用後すぐに 運転スイッチを 手動で切れば◎)</p>
予熱予約 のみ設定	<p>使うとき</p> <p>設定時刻に 自動で運転「入」</p> <p>予熱予約</p> <p>使い終わり</p> <p>手動で</p> <p>運転 入/切</p> <p>切</p>	<p>使いやすさ</p> <p>◎待ち時間なし</p> <p>×切り忘れあり</p>	<p>省エネ性</p> <p>◎</p> <p>(使用後 運転スイッチを 切り忘れると×)</p>

この取扱説明書の見かた／製品名の確認のしかた／この給湯機の特徴(節電・省エネするためには)

はじめに

この取扱説明書の見かた	2
製品名の確認のしかた	2
この給湯機の特徴<節電・省エネするためには>	3
もくじ	4
こんなことができます	5
特に注意していただきたいこと	6

ご使用前に

使用前の準備	12
各部のなまえとはたらき(機器本体)	15
各部のなまえとはたらき(リモコン)	16
スイッチ部	16
表示画面	18
台所リモコンで時計をあわせる	20

お湯・シャワー

お湯の温度を調節してお湯を出す	21
「ピピピ」と鳴ってお湯の温度を 調節できないときは<優先切替>	23

お風呂

お風呂にお湯はりをする<お湯はりメロディ>	24
お風呂を沸かす・沸かし直す・湯温を保つ<ふろ保温>	26
自動保温の時間を変更する	27
沸き上がりのふろ温度を調節する	28
お湯はり湯量を調節する	29
ぬるいお風呂のお湯を沸かす<追いだき>	30

その他の機能

必要な時刻に運転スイッチ「入」に なるよう設定する<予熱予約>	32
リモコンの音量を変更する	34
浴室または台所を呼び出す<呼出>	35

エネルギー

エネルギーで灯油やお湯などの使用状況を見る	36
エネルギーの設定を変更する	38

ユーザー設定

使い勝手にあわせて設定を変更する	40
------------------	----

必要なとき

凍結による破損を予防する	42
長期間使用しないとき(水抜きのみ)	44
日常の点検・お手入れのしかた	46
定期点検(有料)	49
部品交換のしかた	49
法定点検について	50

困ったとき

故障・異常かな?と思ったら	52
リモコンに3桁の英数字が 点滅しているとき<故障表示>	56

ご参考

アフターサービスについて	58
主な仕様	59
リモコン音声一覧	60
設定範囲と初期設定	62
据え付け	63

無料修理保証書

裏表紙

こんなことができます

運転スイッチを「入」にすると
給湯栓やシャワーからお湯が出ます



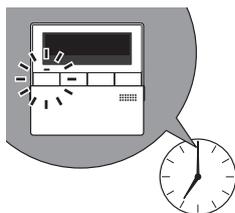
お湯はり湯量を設定しておくで、メロディが鳴って
設定量になったことをお知らせします
また、お風呂のお湯(水)を沸かしたり、保温したりできます



お湯・シャワー

必要な時刻に自動的に運転スイッチが
「入」になるよう予約できます

浴室から台所を、台所から浴室を
呼び出すことができます



お風呂

その他の機能

エネルギーック

灯油やお湯など各エネルギーの
使用状況を確認できます



ユーザー設定

使い勝手にあわせて
いろいろな設定が変更できます

特に注意していただきたいこと

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お願い

安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。



警告

ガソリン厳禁

灯油(JIS 1号灯油)を必ず使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。



ガソリン厳禁

【屋内設置形の場合】

給排気筒トップの閉塞危険

給排気筒トップの周りが雪でふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉塞していると運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。



禁止



外壁の塗装や増改築、建物の修繕時などに機器本体・給排気筒トップが養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない



禁止

不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発点火の原因になります。

【屋内設置形の場合】

給排気筒外れ危険

給排気筒(管・ホース)は、穴があいたり、外れたりしたままで使用しないでください。穴があいたり外れたりしていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。



禁止



お客さまご自身では絶対に分解・修理・改造はおこなわない

思わぬ事故や故障の原因になります。



分解禁止

ふろ保温中・追いだき中は、循環アダプターからあついお湯が出るのでさわらない



やけど予防のため。

循環アダプター

高温注意



シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する



高温注意

やけど予防のため。

・60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。

・お湯の使いはじめは正常な温度でも、使用中に熱くなる場合があります。熱いお湯が出た場合は、すぐに使用を中止してください。なお、使用中にお湯が熱くなる状態が続く場合は機器故障の可能性がありますので、販売店または弊社窓口にご連絡ください。

・夏場などの水温が高いときやお湯の量を絞って使ったとき、設定温度より高い温度のお湯が出る場合は、湯量を増やしたり水を混ぜたりしてから湯温を確認して使用してください。



浴槽の湯温を手で確認してから入浴する

やけど予防のため。



ふろ保温中・追いだき中に同時にお湯を使用した場合、またはお湯の使用直後にふろ保温・追いだきをした場合、循環アダプター



高温注意

からの吹き出し温度が高くなるため、注意する

やけど予防のため。

お湯の使用中は、浴槽水の有無に関わらず、循環アダプターからあついお湯が出たり、まわりが高温になる場合があるため、注意



高温注意

やけど予防のため。

⚠️注意

異常時はただちに使用を中止する

異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従ってください **必ず守る**。

1. 給湯栓を閉める
 2. 運転スイッチを「切」にする
 3. 送油バルブ・給水元栓を閉める
 4. 販売店または弊社窓口に連絡する
- 火災・感電・故障などの予防のため。



ゴム製送油管を屋外で使用しない

油漏れにより、火災のおそれがあります。



禁止

【屋内設置形の場合】

ゴム製送油管にひび割れや亀裂がないことを確認する(ひび割れや亀裂が見た目上ないときは、ゴム製送油管を少し曲げて確認する) **必ず守る**

ひび割れや亀裂があった場合は交換してください。また、ゴム製送油管は時間とともに劣化するため、3年に1回は交換してください。油漏れにより、火災の原因になります。

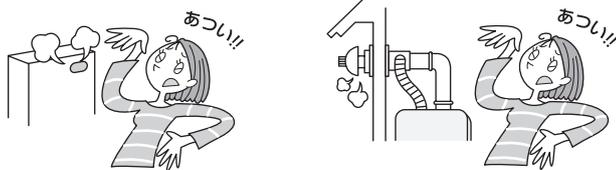


高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は排気口・給排気筒トップやその周辺に手などふれないよう注意してください **接触禁止**。
やけどのおそれがあります。



接触禁止



シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたたり、「優先」を切り替えたりしない **禁止**

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。



禁止

太陽熱温水器とは絶対に接続しない

お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。



禁止

電源プラグはぬれた手でさわらない

感電の原因になります。



ぬれ手禁止



感電注意

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不十分だと、感電や火災の原因になります。



必ず守る

電源プラグのホコリは定期的に取り除く

ホコリがたまると、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。 **必ず守る**



必ず守る

電源コード、電源プラグの破損・加工をしない。束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。



禁止

感電、ショート、火災の原因になります。

傷んだ電源プラグ、緩んだ電源コンセントは使用しない

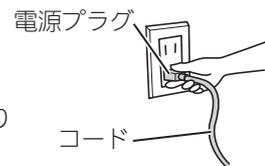
感電、発熱による火災の原因になります。



禁止

電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く

コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。



必ず守る

【排気方向を上方へ変更するカバーを付けている場合】

カバーに雪が積もっていたら、除雪する **必ず守る**

雪で排気が閉そくすると、不完全燃焼や機器の故障の原因になります。



必ず守る

排気口・給排気筒トップのすぐ前に物を置かない

異常燃焼や火災の原因になります。



禁止

特に注意していただきたいこと

(つづく)

特に注意していただきたいこと(つづき)

(つづき)

⚠️ 注意

不良灯油(変質灯油・不純灯油)を使用しない



変質灯油(日光の当たる場所や温度の高い場所で保管して変質した灯油)や、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油)などの不良灯油は使用しないでください。機器の故障の原因になります。

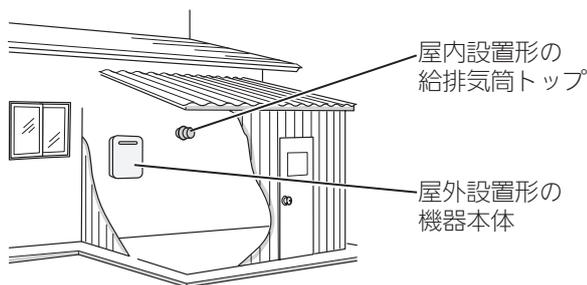
禁止

増改築などで屋内状態にしない(波板囲いなどをしない)



一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

禁止



ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器本体や排気口・給排気筒トップのまわりで使用しない



火災の原因になります。

禁止

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを機器本体や排気口・給排気筒トップのまわりに置かない、使用しない



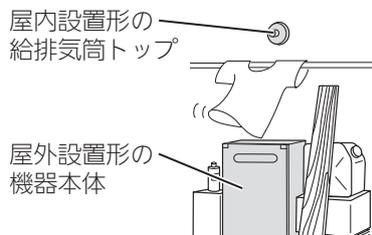
熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

禁止

燃えやすい物を機器本体や排気口・給排気筒トップのまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)



火災の原因になります。



禁止

浴槽が空の状態、追いだきスイッチを押さない



循環アダプターより高温水が吹き出し、やけどの原因になります。

禁止

機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合、運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなう



必ず守る

やけど予防のため。

機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

子供を浴室内で遊ばせない
子供だけで入浴させない

やけどやケガなど思わぬ事故の原因になります。

禁止

お湯の中にもぐったり、循環アダプターのフィルターを外して使用しない



運転中に体の一部や髪の毛などが吸い込まれて、おぼれたり、ケガをするおそれがあります。

禁止

浴槽のふたの上に乗ったり手をついたりしない



ふたが外れておぼれたり、やけどなど思わぬ事故の原因になります。

禁止

オイルタンクや送油管の接合部などから灯油漏れがないことを確かめる



灯油漏れにより、火災の原因になります。

必ず守る

この機器の電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です



他の電源で使用すると、故障・火災の原因になります。

必ず守る

給湯、シャワー、お風呂以外の用途には使用しない



思わぬ事故を予防するため。

禁止

給排気筒トップがホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する



不完全燃焼の原因になります。

必ず守る

給気口・給排気筒トップに指や棒を入れない



ケガや故障の原因になります。

禁止

子供を機器の周囲や直下で遊ばせない

思わぬ事故の原因になります。



禁止

リモコンのスピーカーに耳を近づけない

大きな音が出る場合があります、聴覚障害などを引き起こす原因になります。



禁止

リモコンには磁石を使用しています

磁石の力は非常に微弱ですが、ペースメーカーなど医療機器を使用している方は、医師とご相談のうえ使用してください。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜くとともに、凍結を予防するため、必要な処置をしてください。(P42)

火災や思わぬ事故の原因になります。



電源プラグを抜く

お願い

雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く(またはブレーカーを「切」にする)

ぬれた手でさわらない(感電のおそれがあります)



電源プラグを抜く



ぬれ手禁止



感電注意

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み(またはブレーカーを「入」にし)、リモコンの時計をあわせてください。

※冬期は、電源を長時間切っていると凍結のおそれがあります。

※落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。

台所リモコンは0℃～40℃の室温で、浴室リモコンは0℃～50℃の室温で使用する

故障の原因になります。

浴室リモコンを設置している浴室で、ドライサウナを使用しない

ミストサウナを使用される場合も、50℃以下の室温でご使用ください。

リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤、メラミンスポンジを使用しない

変色・変形・傷・割れなどの原因になります。

台所リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意。故障の原因になります。

浴室リモコンに故意に水をかけない

防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

浴室リモコンに、シャンプー・リンス・入浴剤などを故意にかけない

変色などの原因になります。

リモコンを子供がいたずらしないよう注意する

リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

リモコンのふたに衝撃を与えない

リモコンのふたが破損する原因になります。ふるふたを取り扱うときなどは、リモコンのふたに当たらないよう注意してください。

特に注意していただきたいこと

(つづく)

(つづき)

お願い

硫黄(イオウ)を含んだ入浴剤は使用しない

バスソルトなど塩分の強いもの、乳白色(白濁)のものを使用するときは、保温や追いだきをしない
使用後はすぐに排水する

入浴剤・ふろがま洗剤・洗剤などを使用するときは、注意書きをよく読み、正しく使用する

入浴剤・ふろがま洗剤の種類によっては、機器の熱交換器を腐食させたり、ポンプの能力が低下する原因になるものがあります。

これらを使用して追いだきしたときに、異常音が出たり、追いだきできなくなる場合は、使用をやめてください。ふろがま洗剤の使用に際しては、注意書きをよく読み、正しく使用してください。

浴槽の循環アダプターをタオルなどでふさがない 穴に物を詰めない

ふろ保温ができません。
機器の故障の原因になります。



停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあと(またはブレーカーを「切」にしたあと)は、リモコンの現在時刻を確認する

時計がリセットし、表示が「-: -」になる場合があります。

停電すると、運転が停止します

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。
この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

運転ランプの消灯を確認する

おやすみやお出かけになるときは、運転スイッチ「切」の状態であることを確認してください。

浴槽、洗面台はこまめに掃除する

水中に含まれる微量の銅イオンと、人体のあかやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、浴槽や洗面台が青く着色することがあります。
こまめに掃除をして湯あかやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

断水時は運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

断水復帰後の使い始めのお湯は飲まない、調理に使用しない

断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管にとどまる場合があります。

断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

浴槽の循環アダプターのフィルターはこまめに掃除する

ポンプ故障の予防のため。

凍結による破損を予防する(P42~45)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な対策をしてください。凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする(P44)

凍結および万が一の灯油漏れを防止するため。

積雪時には排気口・給排気筒トップの点検、除雪をする

雪により排気口・給排気筒トップがふさがれると、機器の故障の原因になります。

スス取り剤を使用しない

スス取り剤を使用すると、熱交換器などの損傷を起す場合がありますので、絶対に使用しないでください。

灯油は必ず火気・雨水・ごみ・高温・直射日光を避けた場所に保管する

灯油が変質する原因になります。

機器や給排気筒トップのまわりはきれいにしておく

まわりが物や草木などで雑然としていると、機器の内部にゴミブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

植物やペットなど、排気ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものを、排気口・給排気筒トップの周囲に置かない

運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。運転スイッチ「切」時にお湯側から長時間水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になる場合があります。シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに当たらないように設置する 増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

塀などを増設する場合は、点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと機器や給排気筒トップとの間に十分な空間がないと、点検・修理に支障をきたす場合があります。また、機器や給排気筒トップの周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。

(点検・修理に必要な空間については、販売店または弊社窓口を確認してください)

業務用の用途では使用しない

この製品は家庭用ですので、業務用の用途で使用すると製品の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

冬期の入浴について

冬期など浴室・脱衣室と居室の温度差が大きいときは、急激な温度変化による身体への悪影響(ヒートショック)によって、特に高齢者は入浴時の事故につながるおそれがあります。入浴時に暖房機器で浴室と脱衣室をあたためるなどしてください。浴室をあたためるには、シャワーでお湯を流したり、浴槽にふたをしないで湯はりする方法もあります。

一般的な使用で10年相当使用すると「点検お知らせ機能」がはたらいて、リモコンに「888」を表示します

機器は使用できますが、安全・安心のために点検(有料)をご検討のうえ、下記のお問い合わせ先までお申し込みください。

お問い合わせ先 0120-911-026<ガイダンス番号0番>
(受付時間/365日24時間)

使用前の準備

- 初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

警告	<p>給排気筒外れ危険</p> <p>給排気筒(管・ホース)は、穴があいたり、外れたりしたままで使用しないでください。穴があいたり外れたりしていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。</p>
注意	<p>排気口・給排気筒トップのすぐ前に物を置かない</p> <p>異常燃焼や火災の原因になります。</p>
注意	<p>燃えやすい物を排気口・給排気筒トップのまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)</p> <p>火災の原因になります。</p>
注意	<p>オイルタンクや送油管の接合部などから灯油漏れがないことを確かめる</p> <p>灯油漏れにより、火災の原因になります。</p>

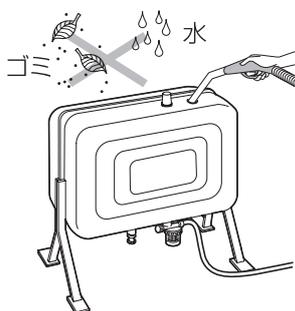
燃料

警告	<p>ガソリン厳禁</p> <p>灯油(JIS 1号灯油)を必ず使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。</p>
注意	<p>不良灯油(変質灯油・不純灯油)を使用しない</p> <p>変質灯油(日光の当たる場所や温度の高い場所で保管して変質した灯油)や、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油)などの不良灯油は使用しないでください。機器の故障の原因になります。</p>

給油

● 給油の際の注意

- 必ず運転スイッチを「切」にしてからおこなってください。
- 水やゴミなどが入らないよう、特に注意してください。
- 給油が終わった後、給油口のふたは確実に閉めてください。
- こぼれた灯油は、よくふきとってください。



● 空気抜きの方法

オイルタンクを空にすると、送油配管内に空気が入り、次回使用するときに着火がスムーズにできない場合があります。

- ①給油後、オイルタンクの送油バルブを開く。
- ②運転スイッチを「入」にする。

【故障表示「260」を表示する場合】

いったん、運転スイッチを「切」にして、再度「入」にしてください。(この操作をしているときは、送油配管内の空気が抜けるまで機器から振動音が出ますが、異常ではありません)

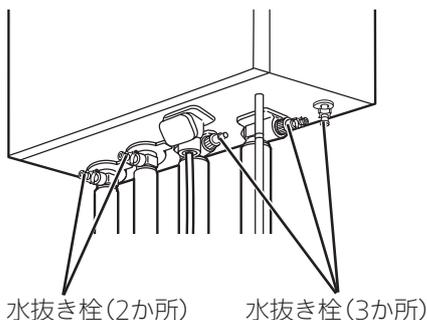
<注意>

※この操作を2~3回しても、故障表示「260」を表示して着火しない場合は、販売店に相談してください。

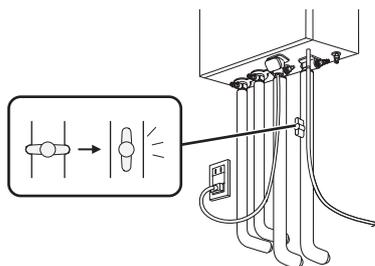
※この操作を何度も繰り返すと、機器の電磁ポンプが故障する場合があります。

運転開始前の準備と確認

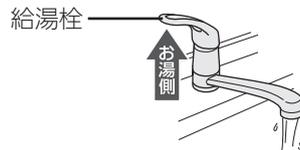
1 ①すべての水抜き栓が閉まっていることを確認する



②給水元栓を全開にする

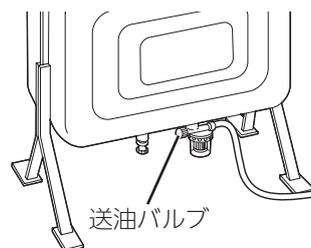


2 給湯栓を開けて水が出ることを確認し、再度閉める



3 P14のどちらかの方法で、ポンプの呼び水をする

4 ①オイルタンクの送油バルブを全開にする

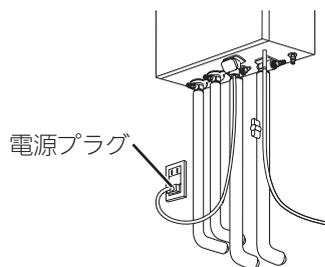


②オイルタンクや送油管接合部などから灯油漏れがないか、確認する

5 電源プラグを電源コンセントに差し込む

ぬれた手でさわらない

対震自動消火装置が自動的にセットされます。



6 浴室リモコンでポンプの呼び水の完了を確認する

- ①浴槽に水を入れる(循環アダプター上部より5cm以上)
- ②運転スイッチを「入」にし、ランプが点滅から点灯になるまで待つ
- ③追いだきスイッチを「入」にする
- ④浴槽の循環アダプターからあついお湯が出てくることを確認する
※リモコンに表示「110」「120」「260」が出たときは、運転スイッチをいったん「切」にし、もう一度手順6の②よりやり直してください。
- ⑤追いだきスイッチを「切」にし、運転スイッチを「切」にする



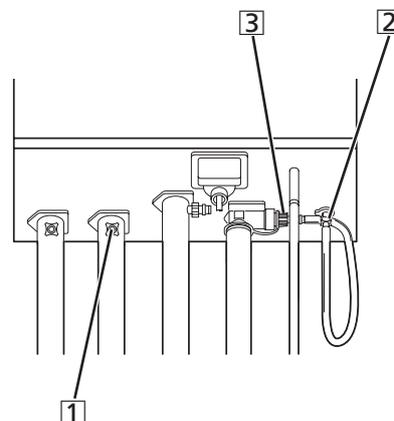
使用前の準備(つづき)

● 呼び水の方法1

1 水抜き栓①と水抜き栓②を開ける

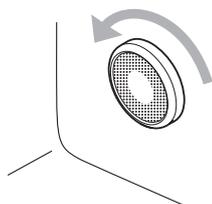
2 ①水抜き栓③についている呼び水ホースの先端を、水抜き栓②につなぐ
②水抜き栓③をゆっくり左に回す
(このとき呼び水ホースの接続部から水が漏れることがありますので、容器などで受けてください)

3 ①水抜き栓①から水が出てきたら、水抜き栓③を閉め、そのあと水抜き栓①②を閉める
②水抜き栓②から呼び水ホースを外す

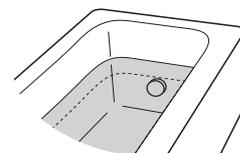


● 呼び水の方法2

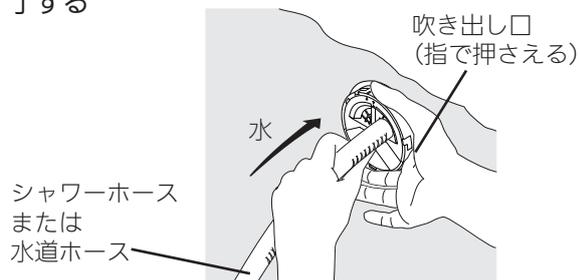
1 循環アダプターのフィルターを左に回して外す
※循環アダプターの形状は、異なる場合があります。



2 浴槽に水を入れる
(循環アダプター上部より5cm以上)



3 どちらかの穴にシャワーホースまたは水道ホースの先端をあて、水を入れる(このとき、ホースをあてた側の吹き出し口を指で押さえておく)
循環アダプター本体から空気が出なくなったら終了する

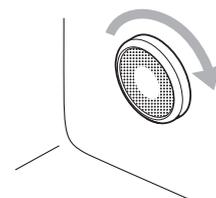


4 線と線に合わせて★はめ込む



★線がない循環アダプターの場合は、△と△を合わせてください。

5 右に止まるまで回して固定する

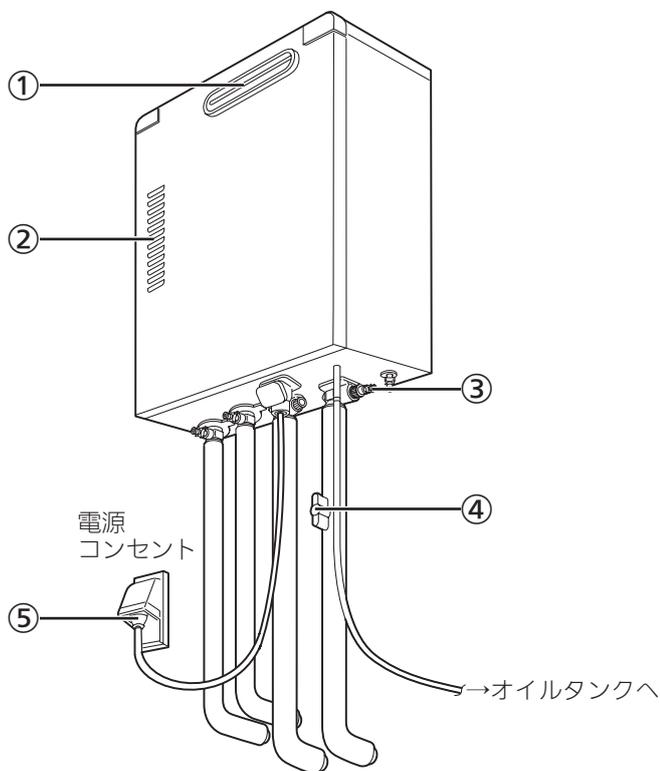


各部のなまえとはたらき(機器本体)

●イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・オイルタンク・電源コンセントの位置など実際と異なります。

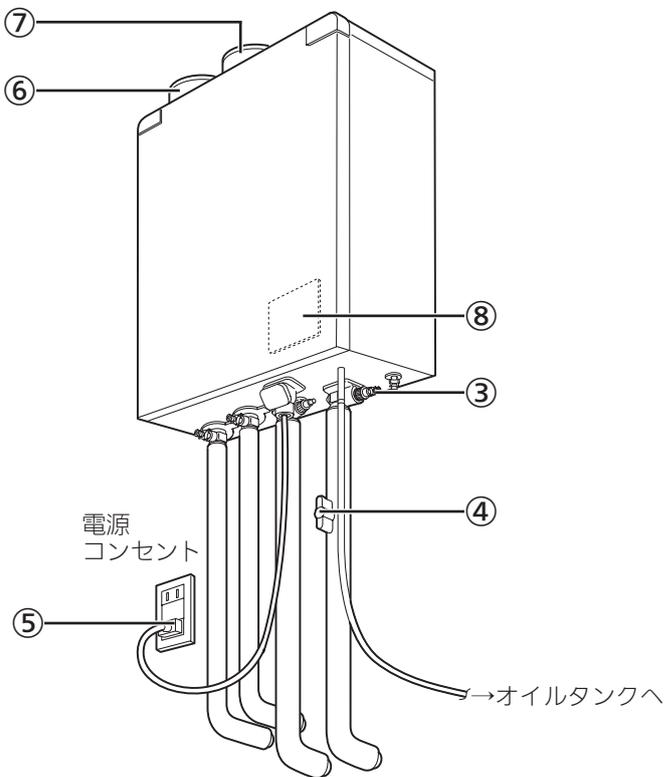
● 屋外設置形

OTQ-G4706W-RC BL, OTQ-G4706W-RC,
OTQ-G4706WS-RC BL, OTQ-G4706WS-RC

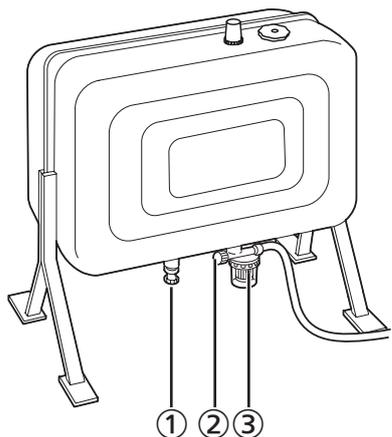


● 屋内設置形

OTQ-G4706WFF-RC BL, OTQ-G4706WFF-RC,
OTQ-G3706WFF-RC BL, OTQ-G3706WFF-RC



● オイルタンク



- ① 排気口
- ⑥ 排気筒
燃焼した排気ガスを出します。
- ② 給気口
- ⑦ 給気筒
燃焼用の空気を吸い込みます。
- ③ 水抜き栓(フィルター付)
- ④ 給水元栓
- ⑤ 電源プラグ
- ⑧ 本体操作部
 - ・機器に組み付けられている場合があります。
 - ・この取扱説明書では「台所リモコン」として説明しています。

- ① ドレン抜きバルブ(P48)
- ② 送油バルブ
- ③ オイルストレーナー

各部のなまえとはたらき(リモコン)

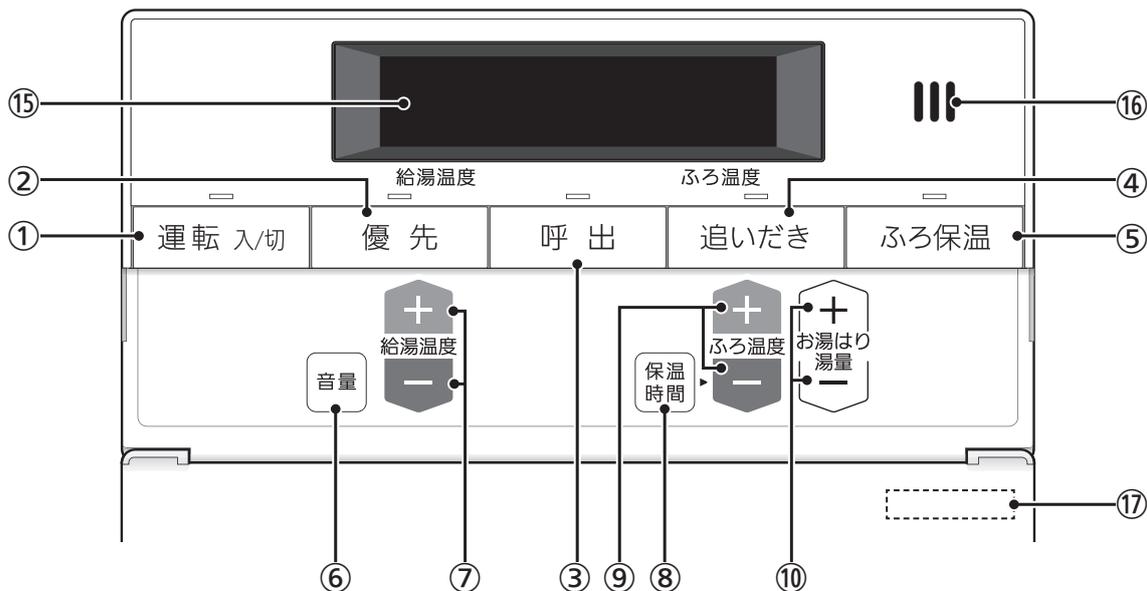
スイッチ部

スイッチを押すと操作音が鳴り、操作の内容を音声でお知らせします。

(ふたを開けた状態です)

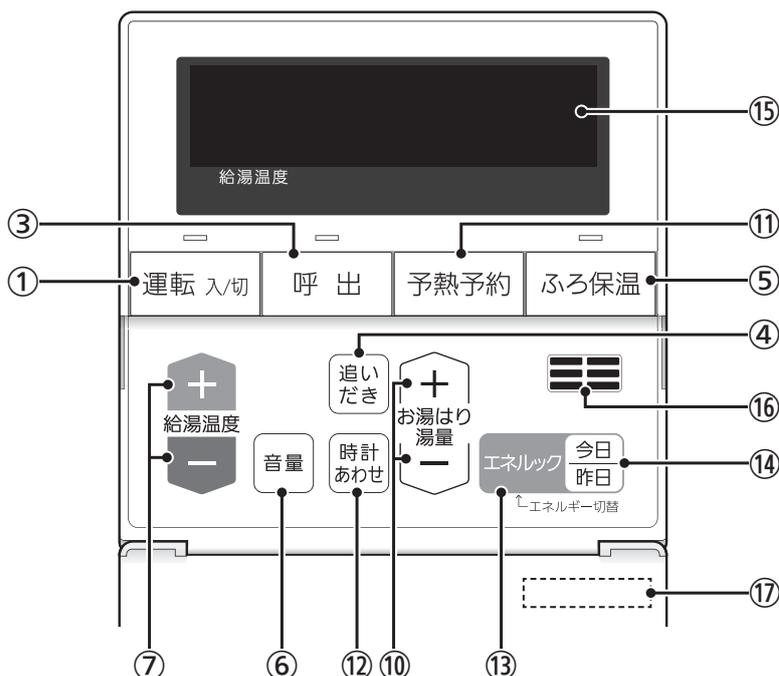
● 浴室リモコン

● リモコン品名：RC-J123S



● 台所リモコン

● リモコン品名：RC-J123M



※この取扱説明書に記載のないリモコンをお使いの場合は、そのリモコン専用の取扱説明書がありますので、そちらも併せてご覧ください。

① 運転スイッチ・ランプ

- ・運転の「入」「切」に。
- ・運転スイッチを「入」にすると、予熱を開始します。
運転ランプ点滅中：お湯やふろ運転ができません。
運転ランプ点灯中：お湯やふろ運転が使えます。

② 優先スイッチ・ランプ

給湯温度を変更できないときに押してランプを点灯させると、変更できます。(P23)

③ 呼出スイッチ・ランプ

台所または浴室を呼び出したいとき。(P35)

④ 追いだきスイッチ・ランプ

ぬるいお風呂のお湯を沸かすとき。(P30)
※台所リモコンにはランプはありません。

⑤ ふろ保温スイッチ・ランプ

お風呂を沸かすとき。(P26)
(自動でお湯はりはしません)

⑥ 音量スイッチ

リモコンの音量を変更したいとき。(P34)

⑦ 給湯温度スイッチ

- ・給湯やシャワーのお湯の温度の設定に。(P21)
- ・その他の設定を変更するとき。

⑧ 保温時間スイッチ

自動保温の時間を変更したいとき。(P27)

⑨ ふろ温度スイッチ

- ・ふろ温度の設定に。(P28)
- ・自動保温の時間を変更したいとき。(P27)

⑩ お湯はり湯量スイッチ

お湯はり湯量の設定に。(P29)

⑪ 予熱予約スイッチ

自動的に運転スイッチを「入」にする時刻を予約するとき。(P32)

⑫ 時計あわせスイッチ

時計をあわせるとき。(P20)

⑬ エネルックスイッチ

- ・灯油やお湯などの使用状況を詳しく見るとき。(P36)
- ・エネルックの設定を変更するとき。(P38)

⑭ 今日/昨日スイッチ

エネルックの今日の値と昨日の値を切り替えたいとき。(P36)

⑮ 表示画面

リモコンの節電のため、「表示の節電」機能を備えています。

お湯を使わないまま、またはスイッチを押さないまま約10分(浴室リモコンの場合、お風呂の機能を使った場合は約1時間)たつと、表示が消えます。(運転ランプは点灯)

⑯ スピーカー

⑰ リモコン品名

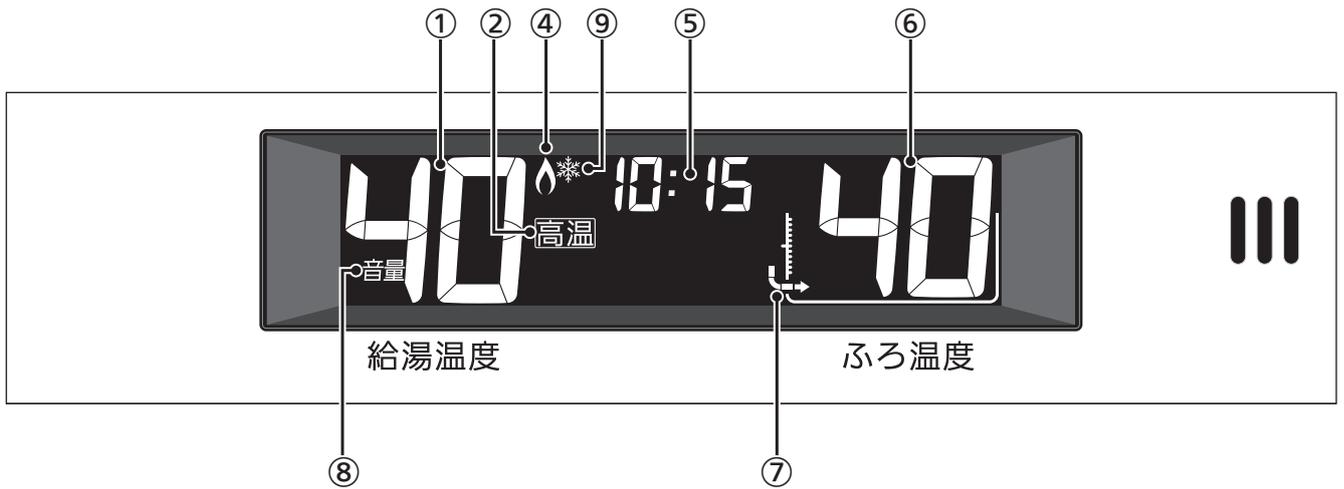
ふたの表面に記載しています。

各部のなまえとはたらき(リモコン)

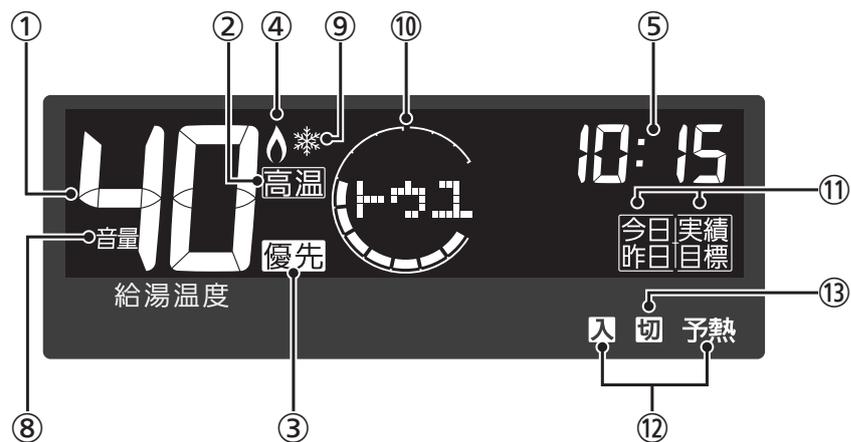
表示画面

下記の表示画面は説明用です。実際は、運転の状態によって、異なる表示をします。

● 浴室リモコン



● 台所リモコン



(つづき)

① 給湯温度表示

② 高温表示

給湯温度を60℃に設定したときに点灯。(P22)

③ 優先表示

点灯していれば、給湯温度が調節できます。(P23)

④ 炎マーク

給湯・お湯はり・追いだき・保温など、燃焼中に点灯。

⑤ 時計表示

故障表示

不具合が生じたときに表示。(P56)

お湯はり湯量表示

お湯はり湯量の設定中に点滅。(P29)

【台所リモコンのみ】

ふろ温度確認表示

台所リモコンでふろ保温スイッチを押すと、ふろ温度が約10秒間点滅。(P26)

【台所リモコンのみ】

エネルギー実績値表示

エネルギースイッチを押すと表示。(P36)
目標を設定すると目標値も表示します。

【台所リモコンのみ】

お湯はり湯量表示

お湯はり湯量の設定中に点滅。(P29)

⑥ ふろ温度表示

⑦

追いだきしているときに動きます。(P30)
※ふろ保温時は表示しません。

⑧ 音量表示

音量の表示中に点灯。(P34)

⑨ 凍結予防運転中マーク

凍結予防のためにポンプが作動しているときに点灯。(P42)

⑩ エネリング

今日の灯油・お湯などの使用状況を表示。(P36)

⑪ エネルック詳細表示

エネルックスイッチを押すと表示します。
表示している値が、今日のものか昨日のものか、実績か目標かを示します。(P36)

⑫ 予熱予約マーク

自動的に運転スイッチ「入」にする「予熱予約」を設定しているときに点灯。(P32)

⑬ 省電カタイマーマーク

省電カタイマー設定中に点灯。(P41)

台所リモコンで時計をあわせる

手順

操作できるリモコン **台所**

1 ふたの中の時計あわせスイッチを押す



表示例



》**しくみ**

- 運転スイッチの「入」「切」に関係なく、設定できます。

2 給湯温度スイッチで時計をあわせる



例：10時15分

》**しくみ**

- 1回押すごとに1分ずつ、長押しすると10分ずつ変わります。

3 時計あわせスイッチを押す



表示例(運転スイッチ「入」時)



「:」のみ点滅

》**しくみ**

- 約60秒そのままにしても設定完了します。

【時計あわせ 完了】

お知らせ

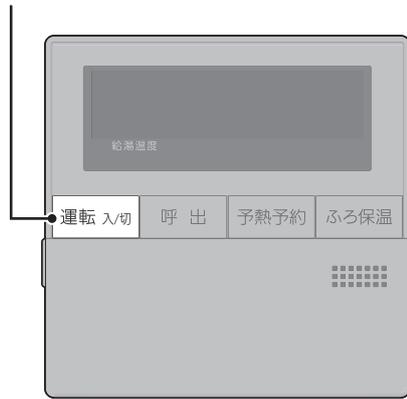
- 停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電して時計を表示させると「-: -」になる場合がありますので、時計をあわせ直してください。
- 通常、運転スイッチを「切」にすると時計表示も消えますが、運転スイッチを「切」にしても時計表示をするよう、設定を変更できます。(P40の番号2)
- 時計は室温の変化によって多少ずれることがあります。

お湯の温度を調節してお湯を出す

手順

操作できるリモコン **台所** **浴室** / 記載例 **台所**

1 運転スイッチを「入」にし、優先表示(浴室リモコンでは優先ランプ)が点灯していることを確認する



表示例



点灯

【運転ランプ点滅】予熱中
↓
【運転ランプ点灯】予熱完了
(お湯が使えます)

》しくみ

- 運転ランプ点滅→点灯
- 運転ランプ点滅中はお湯が出ません。

2 ふたの中の給湯温度スイッチで、お湯の温度を調節する



表示例



例：42℃

》しくみ

- 運転ランプの点滅・点灯に関係なく、設定できます。
- 優先表示または優先ランプが点灯していない場合に給湯温度スイッチを押すと、「ピピピ」と鳴って温度調節ができないことをお知らせします。(温度調節ができないとき→P23)
- 1回押すごとに1段階ずつ、長押しすると連続で表示が変わります。ただし、44℃以上を上げるときは1回ずつ押ししてください。

3 運転ランプの点灯を確認し、給湯栓を開ける または シャワーを出す



燃焼中 点灯



★ヒント

- サーモスタット式混合水栓の場合は、ハンドルの設定よりぬるいお湯が出ることがあります。このような場合は、リモコンの給湯温度を約10℃高めに設定してください。

お知らせ

- 初めてご使用になるときなどは送油経路に空気が入っていて点火せず、リモコンに「110」「120」「260」を表示することがあります。このときは、一度給湯栓を閉め、しばらく待ったあと、運転スイッチを「切」「入」してから給湯栓を開ける操作を、2～3回くりかえしてください。

(つづく)

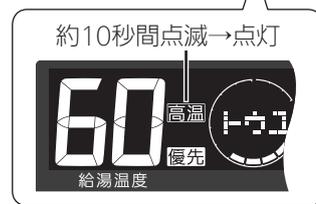
お湯の温度を調節してお湯を出す(つづき)

(つづき)

お湯の温度の目安

															(°C)	
32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	50	55	60
ぬるめ		シャワー、給湯など							給湯など						高温	
食器洗いなど																

- 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。
- 低い給湯温度(ぬるめ、食器洗いなど)に設定した場合、水温が高いとその温度にならないことがあります。
- 表示の温度をよく確かめてから使用してください。高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。



給湯量と給湯温度の早見表

【OTQ-G4706W-RC BL、OTQ-G4706W-RC、OTQ-G4706WS-RC BL、OTQ-G4706WS-RC、OTQ-G4706WFF-RC BL、OTQ-G4706WFF-RCの場合】

給湯温度	給湯量 L/分			
	水温	8°C<冬期>	18°C<春・秋期>	28°C<夏期>
40°C		約21.0	(約30.5)	(約55.5)
48°C		約17.0	約22.5	(約34.0)
60°C		約13.0	約16.0	約21.0

- ()内は湯、水を混合した値です。
- ここでの給湯量は、機器から出湯できる最大量を記載しています。(実際の給湯栓から出る最大量とは異なる場合があります)

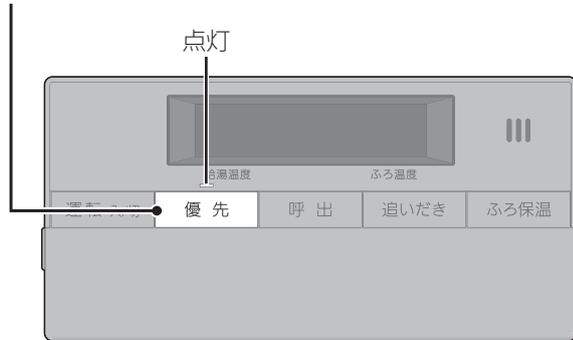
【OTQ-G3706WFF-RC BL、OTQ-G3706WFF-RCの場合】

給湯温度	給湯量 L/分			
	水温	8°C<冬期>	18°C<春・秋期>	28°C<夏期>
40°C		約16.4	(約23.9)	(約43.8)
48°C		約13.1	約17.5	(約26.3)
60°C		約10.1	約12.5	約16.4

 警告	<p>シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する</p> <p>やけど予防のため。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 60°Cの高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。 ● お湯の使いはじめは正常な温度でも、使用中に熱くなる場合があります。熱いお湯が出た場合は、すぐに使用を中止してください。なお、使用中にお湯が熱くなる状態が続く場合は機器故障の可能性がありますので、販売店または弊社窓口にご連絡ください。 ● 夏場などの水温が高いときやお湯の量を絞って使ったとき、設定温度より高い温度のお湯が出る場合は、湯量を増やしたり水を混ぜたりしてから湯温を確認して使用してください。
 注意	<p>シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない</p> <p>高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。</p>

■ 浴室リモコンで温度調節ができないとき

優先スイッチを押す



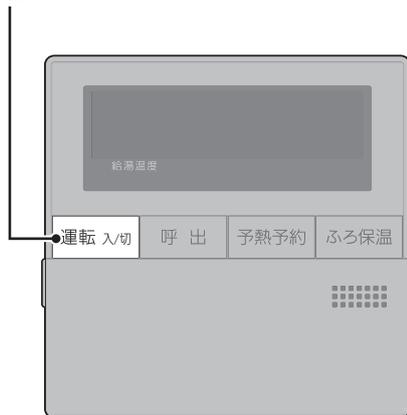
優先ランプが点灯すると、お湯の温度が調節できます

》しくみ

- 浴室リモコンで記憶していた給湯温度を表示します。
- 再度優先スイッチを押すと、台所リモコンに優先が切り替わります。

■ 台所リモコンで温度調節ができないとき

運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にする



優先表示が点灯すると、お湯の温度が調節できます

表示例



》しくみ

- 台所リモコンで記憶していた給湯温度を表示します。
- 運転が停止します。運転を停止させたくない場合は、浴室リモコンの優先スイッチで切り替えてください。

■ 「優先」とは

台所、洗面所、シャワーなど、機器からお湯を供給しているところには、同じ温度のお湯が出ます。

そのため、お湯を使っているときに他の人が給湯温度を変えてしまうと、出ているお湯の温度が変わり、使っている人がやけどをしたり、急に冷たくなって驚く原因になります。

このような事故などを防ぐために、リモコンが複数ある場合は一つのリモコンでしか給湯温度が変えられないようになっています。

給湯温度を調節できることを「優先」と呼び、給湯温度を調節できるリモコンには、優先表示または優先ランプが点灯します。

■運転スイッチを「入」にしたリモコンが優先になります。

■浴室リモコンの優先スイッチで、リモコンの優先を切り替えることができます。

⚠️注意



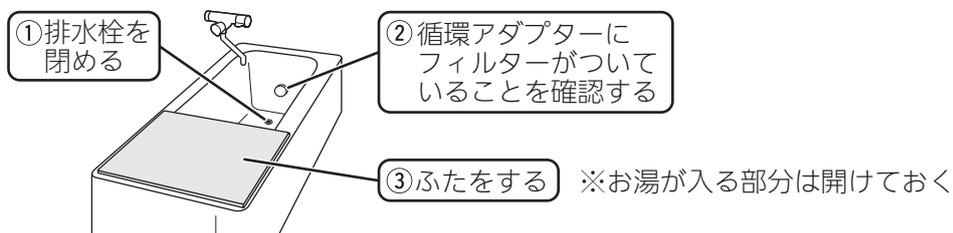
シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

お風呂にお湯はりをする <お湯はりメロディ>

- 設定した湯量お湯はりすると、メロディが鳴ってお知らせします。(お湯は自動的には止まりません)

準備



手順

操作できるリモコン **台所** **浴室** / 記載例 **浴室**

1 ① 運転スイッチを「入」にして



② お湯はり湯量 (P29) ・ 給湯温度を確認する

表示例



【運転ランプ点滅】 予熱中
↓
【運転ランプ点灯】 予熱完了 (お湯が使えます)

》 しくみ

- 運転ランプ点滅 → 点灯、優先ランプ点灯。

▶ 参照

- 給湯温度調節 (P21)
- 給湯温度のお湯でお湯はりします。
- 優先側のリモコンの給湯温度でお湯はりします。必ず優先側の給湯温度を確認してください。
- お湯はり湯量調節 (P29)

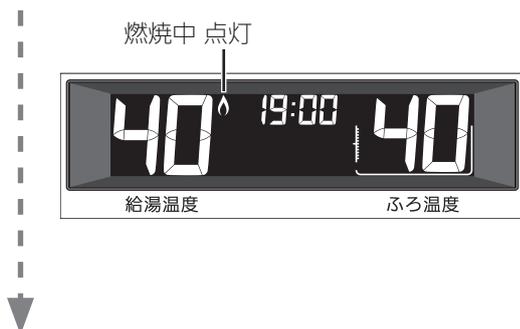
2 給湯栓を開ける



★ ヒント

- サーモスタット式混合水栓の場合は、水栓側の温度設定を最高温度にしてお湯はりしてください。中間の位置で使用すると、水が混ざるため浴槽からお湯があふれたり、ぬるくなる場合があります。

【お湯はり 開始】



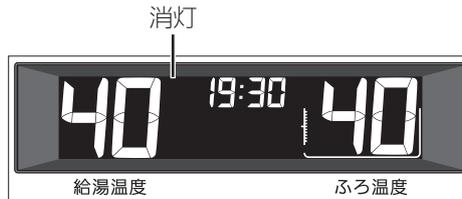


設定した量が入ると
【メロディと音声でお知らせ】

★**ヒント**

- 設定した湯量程度のお湯が入ったのに、お知らせが鳴らないとき
(P55「故障・異常かな?と思ったら」)

3 給湯栓を閉める



浴槽の湯温を手で確認してから入浴する
やけど予防のため。

お湯はり温度(給湯温度)の目安

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう				あつめ				

- 50℃以上の設定もできますが、やけどのおそれがありますので、設定しないでください。
- 設定するお湯はり温度(給湯温度)は目安です。実際の温度と設定温度は、季節や配管の長さなどの条件により異なります。

準備

お湯(水)の量を確認する

循環アダプターの上まで
お湯(水)があること



手順

操作できるリモコン **台所** **浴室** / 記載例 **浴室**

1 ① 運転スイッチを「入」にして



② ふろ温度を確認する

表示例



【運転ランプ点滅】 予熱中
↓
【運転ランプ点灯】 予熱完了
(ふろ保温ができます)

》しくみ

- 運転ランプ点滅 → 点灯、優先ランプ点灯。
- 運転ランプ点滅中はふろ保温はできません。
- ▶ 参照
- ふろ温度調節(P28)

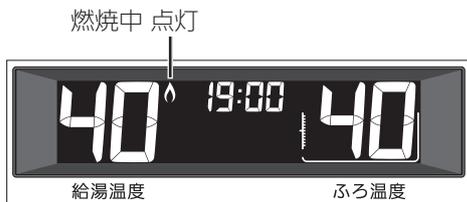
2 ふろ保温スイッチを「入」にする



》しくみ

- ふろ保温ランプ点灯。

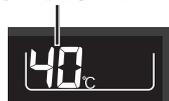
【ふろ保温 開始】



■ 台所リモコンで操作した場合

台所リモコンの表示例

ふろ温度が約10秒間点滅 → 給湯温度点灯



保つ <ふろ保温>



【沸き上がり】

【自動保温】

》 **しくみ**

- メロディと音声でお知らせします。

》 **しくみ**

- 燃焼中は炎マーク点灯。

▶ **参照**

- 自動保温の時間を変更できます。(P40の番号4)

- ふろ保温をやめたいとき
- 沸き上がり後、自動保温の必要がないとき

ふろ保温スイッチを「切」にする

》 **しくみ**

- ふろ保温ランプ消灯。

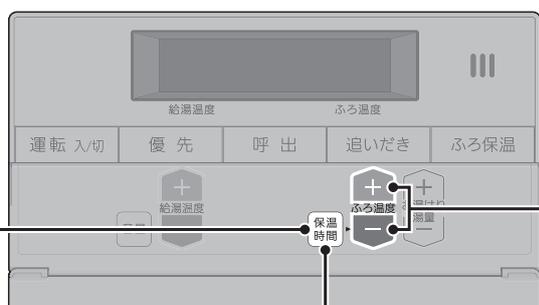
警告	浴槽の湯温を手で確認してから入浴する やけど予防のため。
-----------	---------------------------------

自動保温の時間を変更する

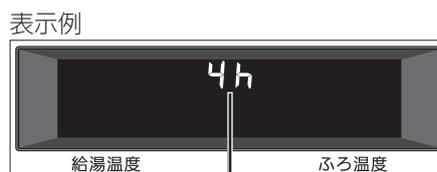
手順

操作できるリモコン **浴室**

① ふたの中の保温時間スイッチを押して



② ふろ温度スイッチで変更し



保温時間 点滅

設定範囲 (h=時間)
0F、1h~9h(1h刻み)

③ 保温時間スイッチを押す

【保温時間変更完了】

》 **しくみ**

- 運転スイッチの「入」「切」に関係なく、変更できます。
- 0Fに設定すると、自動保温しません。
- ②のあと、約10秒そのままにしても設定完了します。

▶ **参照**

- 台所リモコンでも変更できます。(P40の番号4)

お風呂を沸かす・沸かし直す・湯温を保つへふろ保温

沸き上がりのふろ温度を調節する

手順

操作できるリモコン **浴室**

1 運転スイッチを「入」にする



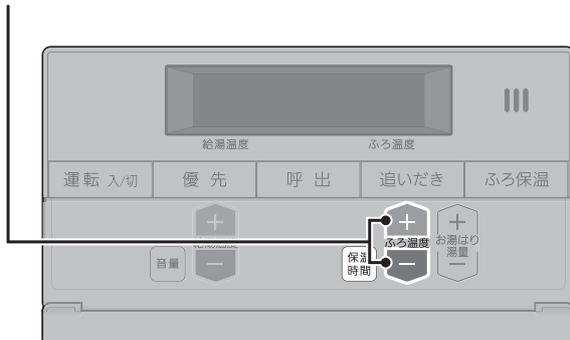
表示例



》しくみ

- 運転ランプ点滅→点灯、優先ランプ点灯。
- 運転ランプの点滅点灯に関係なく、設定できます。

2 ふたの中のふろ温度スイッチで、お好みの温度に調節する



ふろ温度

》しくみ

- 変更した温度は記憶します。
- 1回押すごとに1℃ずつ、長押しすると連続で表示が変わります。ただし、46℃以上に上げるときは1回ずつ押してください。

ふろ温度の目安

																(°C)
33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	
ぬるめ						ふつう					あつめ					

設定するふろ温度は目安です。実際の沸き上がり温度と設定温度は、季節や配管の長さなどの条件により異なります。

お湯はり湯量を調節する

手順

操作できるリモコン **台所 浴室** / 記載例 **浴室**

1 運転スイッチを「入」にする



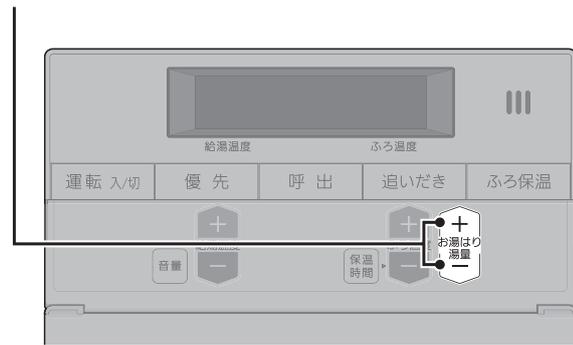
表示例



» しくみ

- 運転ランプ点滅 → 点灯、優先ランプ点灯。
- 運転ランプの点滅点灯に関係なく、設定できます。

2 ふたの中のお湯はり湯量スイッチで、お好みの湯量に調節する



お湯はり湯量 点滅

設定範囲(L)
40~260(20刻み)、300、350、400、
990(お知らせなし)

■ 台所リモコンで操作した場合

台所リモコンの表示例

お湯はり湯量 点滅



» しくみ

- 変更した湯量は記憶します。
- 操作後約10秒たつと、元の画面に戻ります。

■ お湯はり湯量を確認したいとき

運転スイッチ「入」のときに、
お湯はり湯量スイッチの **+** または **-** を一度押す

» しくみ

- 現在のお湯はり湯量を表示します。
- 操作後約10秒たつと、元の画面に戻ります。

ぬるいお風呂のお湯を沸かす <追いだき>

準備

お湯(水)の量を確認する

循環アダプターの上まで
お湯(水)があること



手順

操作できるリモコン **台所** **浴室** / 記載例 **浴室**

1 運転スイッチを「入」にする



【運転ランプ点滅】予熱中
↓
【運転ランプ点灯】予熱完了
(追いだきできます)

》しくみ

- 運転ランプ、優先ランプ(台所リモコンでは優先表示)点灯。
- 運転ランプ点滅中は追いだきを開始しません。あらかじめ運転スイッチを「入」にして予熱を完了させておく(運転ランプ点灯させておく)と、すぐに追いだきを開始できます。

2 追いだきスイッチを「入」にする

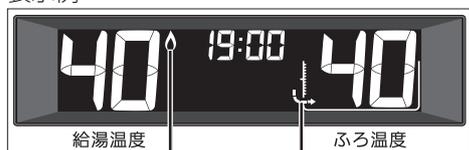


》しくみ

- 追いだきランプ点灯。

【追いだき 開始】

表示例



給湯温度 40 風呂温度 40
燃焼中 点灯 矢印が動きます

■ 台所リモコンで追いだきした場合

台所リモコンの表示例(時計表示部)



設定した 風呂温度 現在の風呂温度 設定した 風呂温度
(目安)

【追いだき 完了】

》しくみ

- 追いだきランプ消灯。
- 【台所リモコンで追いだきした場合】メロディと音声でお知らせします。

■ 追いだきを途中でやめたいとき

追いだきスイッチを「切」にする

》しくみ

- 追いだきランプ消灯。

お知らせ

●【浴室リモコンで追いだきした場合】

設定した風呂温度まで追いだきします。設定した風呂温度よりお湯の温度が高い場合、1回押すと1℃上がり、くりかえし押すと設定温度+3℃を上限に(設定温度45℃以上の場合、約48℃まで)追いだきします。やけどに注意してください。

【台所リモコンで追いだきした場合】

設定した風呂温度まで追いだきします。

必要な時刻に運転スイッチ「入」になる

- 予約しておく、毎日同じ時刻に運転スイッチ「入」になります。
- 予熱予約の時刻は、1日に3つまで設定できます。

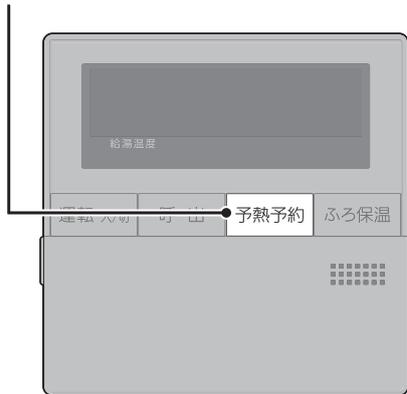
準備

現在の時刻が合っているか確認する

手順

操作できるリモコン **台所**

1 予熱予約スイッチを押す



予約1の設定画面例



》しくみ

- 運転スイッチの「入」「切」に関係なく、予約できます。
- 「ピピピ」と鳴ったり、「入」時刻の設定画面にならないとき → 時計をあわせてください。(P20)

2 ふたの中の給湯温度スイッチで、予約1の「入」時刻を設定する



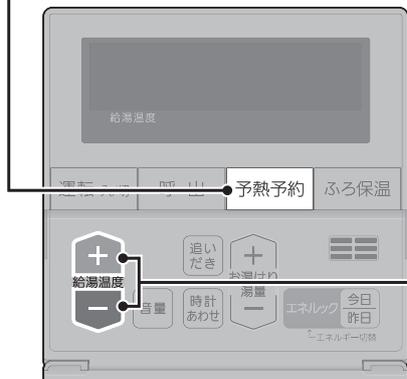
例：「入」時刻 6時00分

》しくみ

- 1回押すごとに10分ずつ、長押しすると1時間ずつ変わります。
- 「入」時刻を設定しない場合は、時刻を「-:-」に設定してください。(「-:-」は23:50と0:00の間にあります)

【予約1の時刻 設定完了】

3 ①予熱予約スイッチを押し、②給湯温度スイッチで、予約2の「入」時刻を設定する



予約2 点灯

前回設定した「入」時刻 点滅

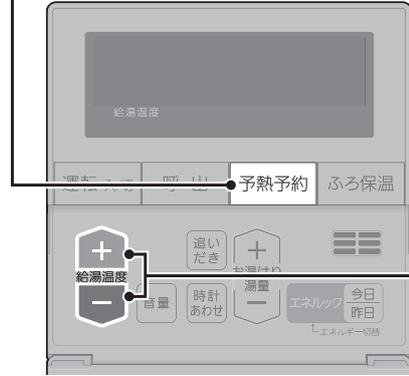
！注意

- 予約操作の途中で約60秒そのままにすると予約は完了せずに元の画面に戻ります。

※予約2、予約3の「入」時刻設定が不要な場合でも、必ず予熱予約スイッチを押して予約3まで進め、最後に手順5で完了してください。

よう設定する <予熱予約>

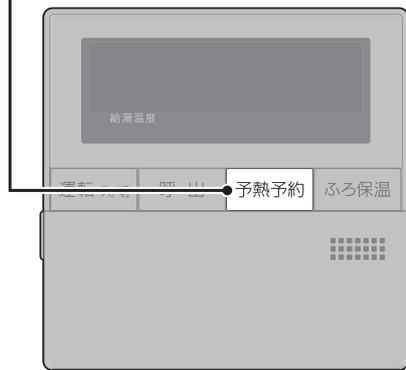
4 ①予熱予約スイッチを押し、②給湯温度スイッチで、予約3の「入」時刻を設定する



！注意

- 予約操作の途中で約60秒そのままにすると予約は完了せずに元の画面に戻ります。

5 予熱予約スイッチを押し



運転スイッチ「入」時の表示例



》しくみ

- 予熱予約スイッチを押さないと予約されません。

【予熱予約 完了】

「入」時刻になると

【自動で運転スイッチ「入」】

》しくみ

- 予約解除をしなければ、毎日同じ時刻に自動的に運転スイッチ「入」になります。

■ 予熱予約をやめたいとき

予熱予約スイッチを押し、予約を解除する

運転スイッチ「入」時の表示例



必要な時刻に運転スイッチ「入」になるよう設定する（予熱予約）

リモコンの音量を変更する

- リモコンの以下の音量が変わります。
 - ・ スイッチを押したときに鳴る音(操作音)
 - ・ 声によるお知らせ(音声ガイド)
 - ・ 呼出スイッチによる呼び出し音
 - ・ メロディ

手順

操作できるリモコン **台所** **浴室** / 記載例 **台所**

1 ふたの中の音量スイッチを押す



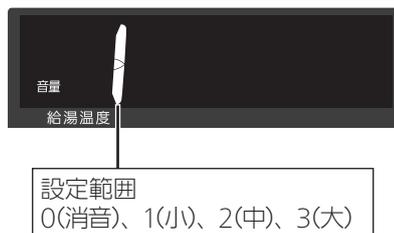
表示例



》しくみ

- 運転スイッチの「入」「切」に関係なく、設定できます。

2 音量スイッチまたは給湯温度スイッチで、音量を変更する



》しくみ

- 変更したリモコンのみ、音量が変わります。
- 「0」に設定しても、呼び出し音(P35)は鳴ります。
- 操作後約10秒たつと、元の画面に戻ります。

【音量変更 完了】

- 「声によるお知らせ(音声ガイド)」のみ消したいとき → P40の番号1

浴室または台所を呼び出す <呼出>

- 浴室から台所を、台所から浴室を、呼び出すことができます。(インターホンではないので会話はできません)

手順

操作できるリモコン **台所** **浴室** / 記載例 **浴室**

1 呼出スイッチを押す



》しくみ

- 運転スイッチの「入」「切」に関係なく、呼び出しできます。
- 呼出ランプ点灯→消灯。
- 呼び出し音が鳴ります。
- 押し続けると、手を離すまで呼び出し音をくりかえします。

リモコンの音量を変更する／浴室または台所を呼び出す<呼出>

お知らせ

- リモコンの音量「0」の設定(P34)でも、呼び出し音は鳴ります。

エネルギーで灯油やお湯などの使用状況

- エネルギーを正しく見るためには、時計合わせが必要です。(P20)
- 必要に応じて、表示や単価料金・目標値などの設定を変更できます。(P38)
- エネルギーの表示は、1時間に1回もしくは、エネルギースイッチを押したときに更新されます。

● 運転スイッチ「入」時は、台所リモコンに今日の灯油・お湯の使用状況とCO₂排出量を、常に表示します<エネリング>

エネリング(グラフ)の見かた
 目標に対して、今日はどれくらい使用しているかを示します。
 (1目盛=目標の約10%)

この位置が「目標」です
 過去2週間の使用分(CO₂の場合は排出量)の平均値を、一日に使用する目安の目標とします。

目標を超えると、**OVER**が点灯します。
 (故障・異常を表すものではありません)

トウユ→ゆ(お湯)→CO₂→…と約20秒ごとに切り替わります。

(「灯油」の使用状況例)

そんなに使ってないはずなのに**OVER**が出るのはなぜ?(P55)

● よりくわしい状況を確認するには

1 運転スイッチを「入」にする

《 運転ランプ点灯 》

2 ふたの中のエネルギースイッチを押す

押すごとに、トウユ→ゆ(お湯)→CO₂→…と、見るエネルギーが切り替わります

表示例



実績や目標値を表示します

【単価料金を「0円」に設定している場合(P38)】
 実績や目標値を、使用量で表示します。

【単価料金を「0円」以外に設定している場合(P38)】
 実績や目標値を、料金と使用量で表示します。

今日の値と昨日の値を切り替えるには

今日/昨日スイッチを押す

押すごとに「今日」「昨日」が切り替わります



実績と目標値を切り替えるには

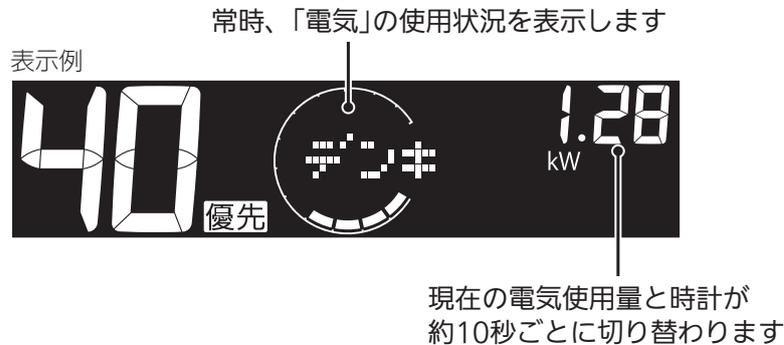
給湯温度スイッチを押す

押すごとに「実績」「目標」が切り替わります



況を見る

● 電力測定ユニットがある場合は



● 運転スイッチを「切」にしたとき

料金設定(P38)をしている場合は、運転スイッチを「切」にすると、今日の料金の実績を約3秒間表示してから画面が消灯します。(表示するエネルギーは、運転スイッチを「切」にするたびに変わります)

確認できるエネルギーや表示する値について

● 石油給湯機付ふろがまで使用した灯油・お湯の状況を確認できます

- 0:00から次の0:00までの使用分を「1日分」として、積算します。
- 石油給湯機付ふろがま以外で使用する灯油(石油ファンヒーター、オイルタンクから分岐している石油暖房機器など)や石油給湯機付ふろがまを通らない水道(トイレ、屋外水栓など)の使用分は、積算しません。
- 運転スイッチ「切」時にお湯側から水を出した場合は、石油給湯機付ふろがま内を通るので「お湯使用分」として積算します。

● 電力測定ユニットがある場合は

- 「家中の電気使用分」も確認できます。
- 電力測定ユニットとパルス出力対応の水道メーターがある場合は、「家中の湯水・電気使用分」の状況を確認できます。(石油給湯機付ふろがまを通らない水道(トイレ、屋外水栓など)の使用分も含みます)

● 表示する値は、実際の使用量や料金とは異なります

- リモコンに表示する使用量・料金などの値は目安です。
- リモコンに表示する料金に基本料金は含まれません。
- 水道・電気の料金は、ご家庭に設置されている各メーターの使用量に応じて請求されます。リモコンに表示する金額で請求されることはありません。(特に水道については、石油給湯機付ふろがま以外で使用する場合がありますため、請求額が大きく異なります)
- 水道・電気の実際の単価料金は、使用量に応じて変動します。

エネルギーの設定を変更する

- 台所リモコンで設定します。(設定中はエネリングを表示します)
- 電気・灯油・水道の単価料金は、それぞれの「使用量のお知らせ」などの明細書や、ご購入時の明細書を参考にしてください。(各明細書について不明な場合は、それぞれの事業者にお問い合わせください)
- 目標値を変更する場合は、明細書を参考にしてください。
- CO₂排出量は、各エネルギーの使用量にCO₂換算値をかけた値で表示します。

★：初期設定

	1	2	3	4	5	6
<p>1 変更したい内容の番号を確認</p> <p>2 台所リモコンで「切」</p> <p>3 エネルギーを変更したい番号を選ぶ</p> <p>4 エネルギーを押す</p> <p>5 点滅の内容を変更する</p> <p>6 終了は「入」または約60秒放置</p>	<p>変更したい内容の番号を確認</p> <p>運転 入/切 → エネルギー</p> <p>ピッと鳴るまで押す(約2秒間)</p>	<p>変更したい番号を選ぶ</p> <p>給湯温度</p>	<p>エネルギーを押す</p> <p>(点滅が右側に変わります)</p>	<p>点滅の内容を変更する</p> <p>給湯温度</p>	<p>終了は「入」または約60秒放置</p>	
CO ₂ 排出量のエネルギーの種類を変更したい	1	1 3	1 1 1 3	1: 灯油のみ 2: お湯のみ 3: 灯油+お湯★	4: 電気のみ 5: 電気+灯油 6: 電気+お湯 7: 電気+灯油+お湯★	<p>※4~7は、電力測定ユニットがある場合に設定できます。 電力測定ユニットがある場合、初期設定は7です。</p>
常に表示するエネリングの表示内容を変更したい	2	2 0	2 0 2 3	電力測定ユニットなし 0: 自動切り替え★ 1: 灯油 2: お湯 3: 自動切り替え	電力測定ユニットあり 0: 電気★ 1: 灯油 2: お湯 3: 自動切り替え	<p>※0と3は、表示が「トウユ→ゆ(お湯)→CO₂→トウユ…」と自動的に変わります。</p> <p>※3は、表示が「電気→トウユ→ゆ(お湯)→CO₂→電気…」と自動的に変わります。</p>
常に表示する電気使用量表示の内容を変更したい 電力測定ユニットがない場合はこの設定は関係ありません	3	3 0	3 0 3 2	0: 時計と現在の電気使用量の交互表示★ 1: 現在の電気使用量を表示しない 2: 現在の電気使用量のみ表示		
【電力測定ユニットがある場合】電気の単価料金を変更したい	4	4 0	4 0 4 999	0~999 円/kWh 料金表示を出したくない場合は、0に設定してください。 (★: 0)		
【電力測定ユニットがある場合】電気の1か月の使用量の目標値を変更したい	5	5 0	5 0 5 9999	0~9999 kWh 0に設定すると、目標が自動的に設定されます。 (★: 0)		
灯油の単価料金を変更したい	6	6 0	6 0 6 999	0~999 円/L 料金表示を出したくない場合は、0に設定してください。 (★: 0)		

★：初期設定

1	2 台所リモコンで 変更したい内容の 番号を確認 運転 入切 → エネルック 「切」 ピッと鳴るまで 押す(約2秒間)	3 + 変更したい 番号を選ぶ 給湯温度	4 Enerlock を 押す (点滅が右側に 変わります)	5 + 点滅の 内容を 変更する 給湯温度	6 終了は 運転 入切 「入」 または 約60秒放置
灯油の1か月の使用量の 目標値を変更したい	7	7 0	7 0 } 7 999	0~999 L 0に設定すると、目標が自動的に設定されます。 (★：0)	
水道の単価料金を変更したい	8	8 0	8 0 } 8 999	0~999 円/m ³ 料金表示を出したくない場合は、0に設定してく ださい。 (★：0)	
水道の1か月の使用量の 目標値を変更したい	9	9 0	9 0 } 9 999	0~999 m ³ 0に設定すると、目標が自動的に設定されます。 (★：0)	
エネルギーの表示をやめたい	10	10 on	10 on } 10 of	on：表示する★ of：表示しない	
【電力測定ユニットがある場合】 電気のCO ₂ 換算値を 変更したい	11	11 0.69	11 0.01 } 11 9.99	0.01~9.99 kgCO ₂ /kWh (★：0.69・・・火力発電のCO ₂ 排出係数(中央環 境審議会地球環境部会目標達成シナリオ小委員 会「中間とりまとめ」2001年より))	
灯油のCO ₂ 換算値を 変更したい	12	12 2.49	12 0.01 } 12 9.99	0.01~9.99 kgCO ₂ /L (★：2.49・・・環境省発表資料より)	
水道のCO ₂ 換算値を 変更したい	13	13 0.36	13 0.01 } 13 9.99	0.01~9.99 kgCO ₂ /m ³ (★：0.36・・・環境省発表資料より)	
Enerlock設定を 初期設定に戻したい	14	14 of	14 of } + を長押し 給湯温度 (ピッと鳴るまで 約5秒間)	表示がonになり、初期設定に戻る	

Enerlockの設定を変更する

使い勝手にあわせて設定を変更する

★：初期設定

	1	2	3	4	5	6
	変更したい内容の 番号を確認	運転入切 「切」	変更したい 番号を選ぶ	ふろ保温 を押す (点滅が右側に 変わります)	点滅の 内容 を変更する	終了は 運転入切「入」 または 約60秒放置
声によるお知らせ(音声 ガイド)を消したい	1	台所 浴室 それぞれ	1 on	1 on 1 of	on：あり★ of：なし	
表示の節電をやめたい 時計を いつも表示させたい	2	台所 浴室 それぞれ	2 1	2 1 2 3	1：表示の節電をする★ 2：表示の節電をしない 3：表示の節電をしない/運転スイッチ 「切」でも時計を表示する	
自動保温の時間を変更 したい 自動保温はいらない	4	台所 または 浴室	4 4	4 0 4 9	0：沸き上がり後、自動保温をしません 1～9：1～9時間 (★：4)	
リモコンの音量を 変えたい	8	台所 浴室 それぞれ	8 2	8 0 8 3	0：消音 1：小 2：中★ 3：大	
給湯・シャワーの 温度を制限したい	11	台所 または 浴室	11 60	11 32 11 60	上限の温度(℃)： 32、35、37～48(1℃刻み)、 50、55、60★	
【浴室リモコンで追いだき する場合】 少し熱めに 追いだきしたい	13	浴室	13 0	13 0 13 2	0：浴槽のお湯の温度+約1℃追いだき★ 1：設定「0」よりももう少し高い温度まで 追いだき 2：設定「1」よりももう少し高い温度まで 追いだき ※どの設定の場合でも、浴槽のお湯の温 度が設定したふろ温度より低いとき は、設定温度まで沸かします。 ※設定を「1」や「2」に変更しても、設定 温度+3℃より高い温度には追いだき できません。	
【浴室リモコンで追いだき する場合】 追いだき完了の お知らせをしてほしい	15	浴室	15 of	15 on 15 of	on：お知らせをする(浴室・台所とも) of：お知らせをしない★	
機器の水抜きをする	18	台所 または 浴室	18 of	18 of + を押す 給湯温度	表示がonになり、すぐに機器の水抜き を開始 ※機器の水抜き中にofを選択すると、 機器の水抜きを中止します。	

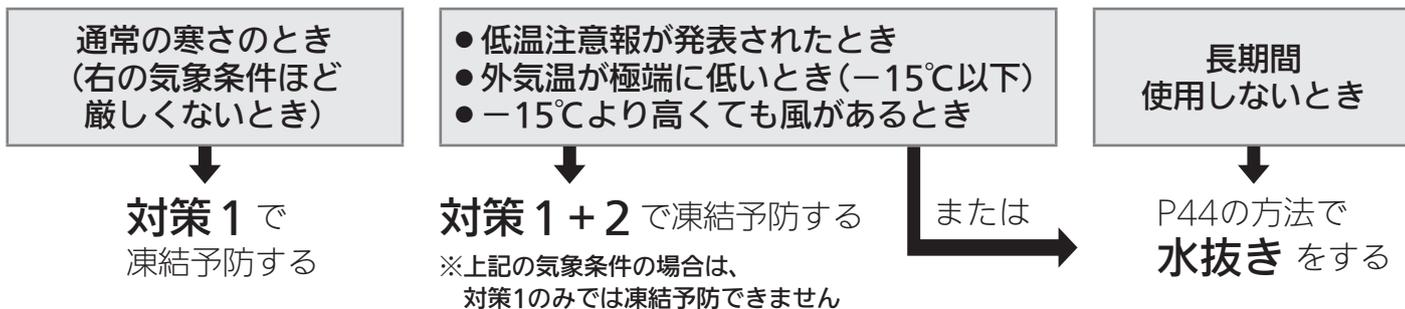
★：初期設定

1 変更したい内容の 番号を確認	2 運転 入切 「切」 → ふろ保温 ピッと鳴るまで 押す(約2秒間)	3 変更したい 番号を選ぶ	4 ふろ保温 を 押す (点滅が右側に 変わります)	5 点滅の 内容 を変更する	6 終了は 運転 入切 「入」 または 約60秒放置
ユーザー設定を 初期設定に戻したい	19	台所 または 浴室	19 oF	19 oF + を長押し 給湯温度 (ピッと鳴るまで) 約5秒間	表示がonになり、初期設定に戻る ※音量も初期設定に戻ります。
ふろ温度や沸き上がりの 温度を制限したい	20	浴室	20 oF	20 33 20 33 20 48	oF：上限の温度は48℃★ 33~48：上限の温度は設定した値
予熱開始・完了の お知らせはらない	25	台所	25 on	25 on 25 oF	on：お知らせをする★ oF：お知らせをしない
機器を使用しないときは 自動的に運転スイッチを 「切」にしたい 省電カタイマー	26	台所	26 on	26 oF 26 0.5 26 1 26 6	oF：自動で運転スイッチ「切」にならない★ 0.5、1~6：0.5、1~6時間 ※0.5、1~6に設定すると、省電カタイ マーマークが点灯します。(P19)
呼び出し音の種類を 変えたい	27	台所 浴室 それぞれ	27 1	27 1 27 2	1：呼び出し音1★ 2：呼び出し音2

使い勝手にあわせて設定を変更する

凍結による破損を予防する

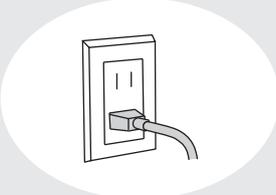
お願い	凍結による破損を予防する	<ul style="list-style-type: none"> ● 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な対策をしてください。 ● 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。
------------	--------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



対策1 凍結予防ヒーター + 浴槽水の循環により自動的に凍結予防 (運転スイッチ「入」「切」に関係なく、自動的に凍結予防します)

電源プラグを抜かない

電源プラグを入れておくと、凍結予防ヒーターで機器内の凍結予防をします



- 屋内設置形の場合は、ファンがはたらいて機器内の冷たい空気を外に出します。このとき作動音がして、リモコンに凍結予防運転中マークが点灯します。
- 給水・給湯配管や、給水元栓およびふろ配管などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください)

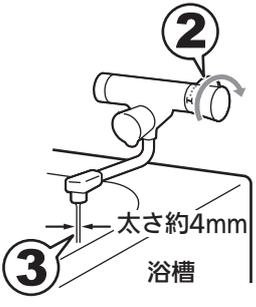
浴槽の循環アダプターの上まで水を入れておく
(残り湯があるときなど)

ポンプで浴槽の水を循環させ、ふろ配管の凍結予防をします



- 燃焼はしませんが、ポンプの運転音(ウーン)と水が循環する音がします。
- リモコンに凍結予防運転中マークが点灯します。
- 浴槽に水(お湯)がないとポンプが空運転し、機器から大きな音が発生する場合があります。

対策2 通水による凍結予防

<p>1 運転スイッチを「切」にする</p>	<p>2 サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度側にする</p>	
<p>3 おふろの給湯栓を開き、少量の水を流したままにする</p> <p>少量の水とは・・・ 1分間に約400mL、太さ約4mm</p>	<p>4 約30分後、流れる量を確認する</p> <p>流量が不安定になっている場合があります</p>	

- 機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。
- 結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態でご湯栓から水を出さないようお願いしていますが(P11)、凍結予防の処置の場合は問題ありません。
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。
- この処置をしても凍結するおそれのある場合には、P44の方法で水抜きをおこなってください。

凍結してお湯(水)が出ないとき

● 運転スイッチを「切」にする

- 「入」にしていると燃焼する場合があります。
- 気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。

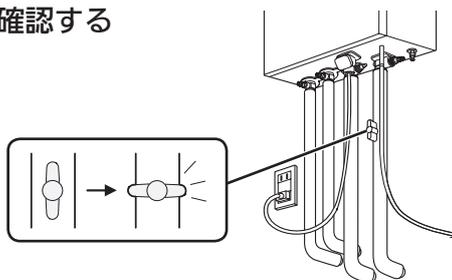
● すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください

1 運転スイッチを「切」にする

2 台所などの給湯栓を少し開けておく



3 給水元栓が回るかどうか確認する



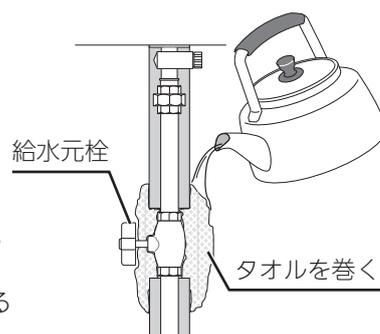
給水元栓が凍結して回らない場合

- ① タオルを給水元栓のまわりに巻く。
- ② 人肌程度(30~40℃)のぬるま湯を給水元栓に巻いたタオルにゆっくりかける。(床面などがぬれないように処置をする)

注意

- 熱湯をかけると配管が破裂するおそれがあります。
- 機器の電源プラグ、コード、電源コンセントにお湯がかからないように注意してください。

- ③ 給水元栓が回る(水が流れる音がする)ようになったら、給湯栓を閉める。
- ④ タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布でふき取る。
- ⑤ 今後凍結しにくいようにするため、給水元栓まわりに保温材をかぶせるなどの処置をする。(わからないときは、販売店に確認してください)



凍結による破損を予防する

給水元栓が回るのに水が出ない場合

給水元栓を必ず閉め、気温の上昇により自然に解凍するのを待つか、販売店または弊社窓口にご連絡ください。

お知らせ

- 凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。
- 給湯栓から水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。

長期間使用しないとき(水抜きのみ)

⚠️注意

❗ 機器の水抜きをする場合、運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなうやけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

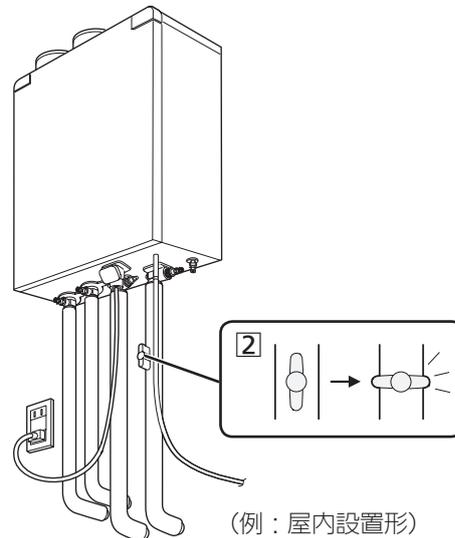
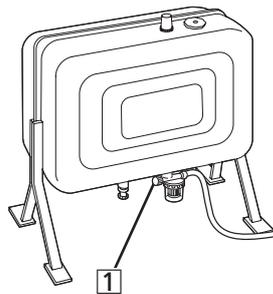
準備

水抜き栓などからお湯(水)が約2.1L出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

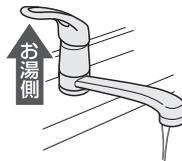
手順

1 浴槽内の水を完全に排水する

2 送油バルブ①と給水元栓②を閉める



3 家中のすべての給湯栓を全開にする



4 ①運転スイッチを「入」にする
②運転ランプが点滅から点灯になったことを確認する

5 ①追いだきスイッチを「入」にする
②浴槽の循環アダプターから排水することを確認し、約5分間そのままにする
③追いだきスイッチを「切」にする

» **しくみ**
● 追いだきスイッチを「入」にすると、約1分～数分後にリモコンに故障表示「632」を表示する場合がありますが、異常ではありません。そのまま約5分間放置してください。

- 6** ①過圧防止安全装置(水抜き栓)③・水抜き栓④⑤を、左に回してゆるめる
②水抜き栓⑥を左に回して外す

7 機器の水抜きをする

- ①リモコンの運転スイッチを「切」にする
- ②ふろ保温スイッチをピッと鳴るまで押す(約2秒間)
- ③給湯温度スイッチで「18」にする
- ④ふろ保温スイッチを押す
- ⑤給湯温度スイッチの  で「on」にする
- ⑥浴槽の循環アダプターから排水することを確認する
- ⑦約2分30秒後「ピピッ」とお知らせ音が鳴るまでそのままにする

8 機器の電源プラグを抜く
ぬれた手でさわらない

9 すべての水抜き栓から水が出なくなったことを確認したあと、家中のすべての給湯栓を閉める

》 **しくみ**

- 水抜き栓から勢いよく水が飛び散る可能性があります。

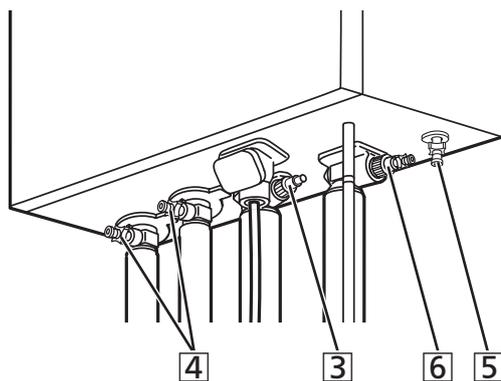
！ **注意**

- 水抜きの途中で電源プラグを抜かないでください。
- 機器からファンの音がしますが、異常ではありません。

★ **ヒント**

- 水抜きを中止する場合は、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。

各水抜き栓は、保温材などで見えにくいことがあります。



過圧防止安全装置(水抜き栓)③

【屋外設置形】



【屋内設置形】



水抜き栓 ④⑤



水抜き栓 ⑥



長期間使用しないとき(水抜きのしかた)

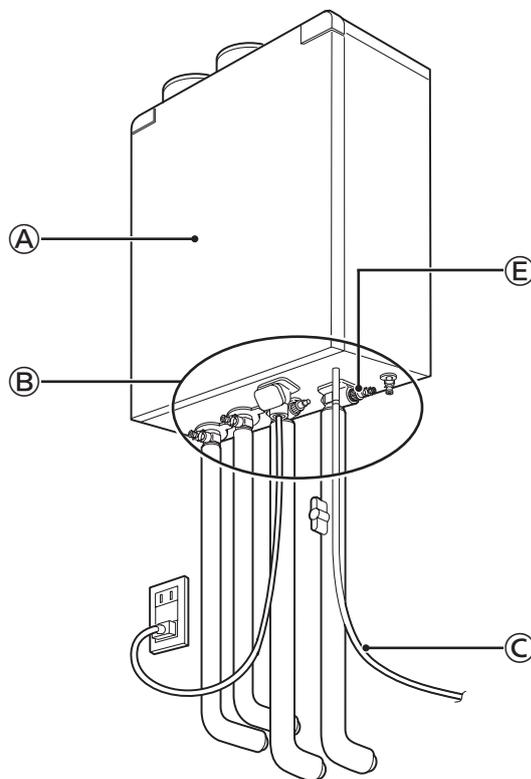
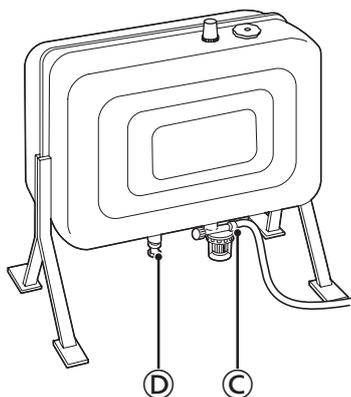
水抜き後の再使用のとき

P13の「運転開始前の準備と確認」に従って、使用してください。

日常の点検・お手入れのしかた

- 点検・お手入れは定期的におこなってください。

⚠️注意 **!** 機器の点検・お手入れをする場合、運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなうやけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。



(例：屋内設置形)

点検

排気口・給排気筒トップがホコリなどでふさがっていないか？

ふさがっている場合は、掃除する。

点検

機器外装に異常な変色はないか？ →A

現象があった場合は、販売店または弊社窓口につながる。

点検

- 機器から異常音が聞こえないか？ →A
- 機器・配管から水漏れはないか？ →B

現象があった場合：
「故障・異常かな？と思ったら」の「機器全般」(P53)を確認する。それでもなおおかしいときは、販売店または弊社窓口につながる。

点検

機器外装の下部周辺などにサビや穴開きはないか？ →B

現象があった場合は、販売店または弊社窓口につながる。

※海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、潮風によって、機器本体および配管接続部にサビが発生する場合があります。サビがひどい場合は、機器本体内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。

点検

機器や排気口・給排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？

燃えやすいものを置かない。

点検

オイルタンクや送油管の接合部などから灯油漏れがないか？ →C

灯油漏れがあった場合：
運転スイッチを「切」にし、オイルタンクの送油バルブを閉めてから、販売店または弊社窓口につながる。

点検

【屋内設置形の場合】ゴム製送油管にひび割れや亀裂がないか？(ひび割れや亀裂が見た目上ないときは、ゴム製送油管を少し曲げて確認する) →C

ひび割れや亀裂があった場合：
交換する。(ゴム製送油管は時間とともに劣化するため、3年に1回は交換してください)

点検

オイルタンクのドレン抜きバルブから灯油漏れがないか？→⑩

【灯油漏れがあった場合】

- ①オイルタンク下部のドレン抜きバルブの下に、灯油を受ける容器を置く。
 - ②ドレン抜きバルブを開け、約10~20mL排水する。
 - ③しっかりとドレン抜きバルブを閉める。(出た灯油にゴミや異物が混じていなければ、灯油をオイルタンクへ戻してください)
- ※しばらく様子を見て、それでも漏れるようであれば、販売店または弊社窓口にご連絡ください。

点検

【屋内設置形の場合】

排気筒や給排気筒(管・ホース)が正しく接続されているか、または穴があいていないか？

現象があった場合は、販売店または弊社窓口にご連絡ください。

お手入れ 外装の汚れ →⑪

ぬれた布で落したあと充分水気をふき取ってください。特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

お手入れ リモコン

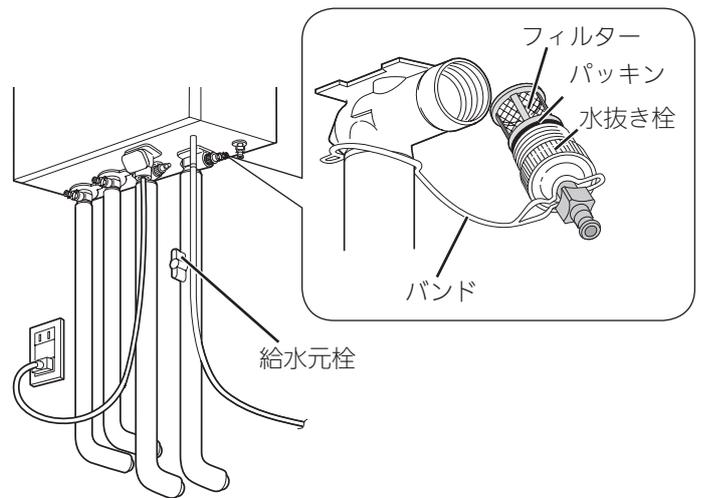
リモコンの表面が汚れたときは、湿った布で軽くふいてください。

お手入れ 水抜き栓のフィルター →⑫

水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

- ①水抜き栓から出る水(お湯)を受ける容器を準備する。
- ②機器の給水元栓を閉める。
- ③台所・洗面所など、家中のすべての給湯栓を開ける。
- ④水抜き栓を左に回して外す。※1
- ⑤水抜き栓を、配管とつながっているバンドから外す。
- ⑥フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。※2
- ⑦元どおりに水抜き栓を取り付ける。
- ⑧すべての給湯栓を閉める。
- ⑨給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

- ※1 このとき水(お湯)が出るので注意してください。
※2 水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターのパッキンをなくさないように注意してください。



お手入れ おふろの配管

ポンプで浴槽の水を循環させるため、湯あかはたまりにくくなっていますが、雑菌などが気になる場合は市販のふろがま洗剤をお試しください。(ふろがま洗剤の説明書に従って正しく洗浄してください)

日常の点検・お手入れのしかた(つづき)

(つづき)

お手入れ 循環アダプターのフィルター (月に1度くらい)

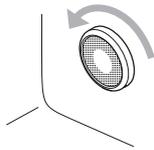
フィルターが詰まると、おふろの温度がご希望の温度にならないおそれがありますので、以下の方法で必ずこまめに掃除してください。

※リモコンの運転スイッチを「切」にしてからおこなってください。

※フィルターは必ず正常に取り付けて使用してください。外したままや、正常に取り付けられていない状態で使用すると、機器が故障することがあります。

※循環アダプターの形状は、異なる場合があります。

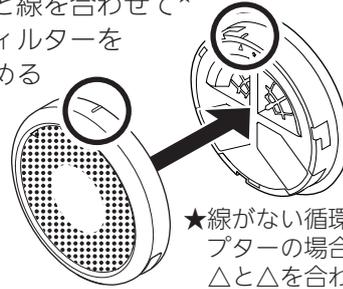
①循環アダプターのフィルターを左に回して外す



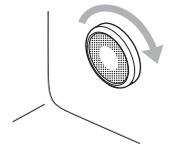
②歯ブラシなどで水洗いする



③線と線を合わせて* フィルターをはめる



④右に回す (カチッと音がして固定されます)



お手入れ オイルタンク

オイルタンクに水が混じると、オイルタンク内部のサビ発生や不完全燃焼の原因になるため、定期的には水抜きをしてください。

①オイルタンク下部のドレン抜きバルブの下に、灯油を受ける口の広い透明の容器を置く。

②ドレン抜きバルブをゆっくり開け、約200mL排水する。

③容器にたまった液体が分離していれば、灯油に水が混じっているので一度容器を空にし、再度約200mL排水する。これを、分離しなくなるまでくりかえす。

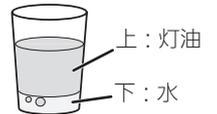
※分離していなければ、水は混ざっていません。

④水抜きが完了したら、ドレン抜きバルブを閉める。

出た灯油にゴミ・異物が混ざっていなければ、灯油をオイルタンクへ戻す。



<分離している状態>



お手入れ オイルストレーナー

オイルストレーナー(機器内・オイルタンク)にゴミや水がたまるので、定期的に販売店に点検を依頼してください。

定期点検(有料)

長期間ご使用になると、機器の点検が必要です。

機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。

点検は販売店または修理資格者[日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など]のいる店などにご相談ください。

部品交換のしかた

部品の交換は必ず純正部品を使用してください。また故障やおわかりにならないことがありましたら販売店に相談していただき、修理資格者[日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など]の修理をお受けください。

<使用方法などによっては、故障する可能性のある部品>

不良灯油(変質灯油・不純灯油)・水が混入した灯油の使用により、故障する可能性のある部品	電磁ポンプ、気化器
水の析出物により、故障する可能性のある部品	バイパス水量サーボ、水量サーボ

お買い上げいただいた製品は、消費生活用製品安全法(消安法)の長期使用製品安全点検制度で指定された特定保守製品です。

● 特定保守製品とは

「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化(経年劣化)により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なもの(消安法第2条第4項)」として指定された製品です。

● 法定の点検期間になったら点検を受けてください

- 特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、設計標準使用期間に基づいて製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが、製品の所有者の責務として求められています(消安法第32条の14)。本製品に表示している点検期間になりましたら、必ず点検を受けてください。(点検は有料です)
- なお、法定点検の後もご使用を継続する場合には、こまめに点検を受けることが本製品を安全にお使いいただくために必要となりますので、ご注意ください。
- 法定点検は、その時点で点検基準に適合しているかどうかの確認であって、その後の安全を担保するものではありません。

● 法定の所有者登録をしてください

- 特定保守製品の所有者は、この製品の製造(輸入)事業者が法定の所有者登録をすることが求められています(消安法第32条の8第1項)。製品に同梱している「所有者票」に記載している《所有者登録の方法》に従って、ご登録をお願いします。
- ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

● 登録していただいた所有者情報に変更がありましたらご連絡ください

- 所有者情報に変更があった場合、この製品の製造(輸入)事業者に変更の連絡をすることが求められています(消安法第32条の8第2項)。引っ越しなどで所有者情報に変更がありましたら、速やかに「所有者票」に記載している《所有者登録の方法》に掲げる問合せ連絡先にご連絡ください。ご連絡いただかない場合、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせが正しく届かないことがあります。

● 法定の点検通知をいたします

- 法定の所有者登録をしていただいた方に、登録情報に基づいて点検期間の開始前に法定の点検通知をいたします(消安法第32条の12)。
- 点検期間については、製品本体の表示、もしくは製品に同梱している「所有者票(お客さま控え)」をご覧ください。

【本製品の設計標準使用期間について】

本製品は、設計標準使用期間^{*}を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

※設計標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理がおこなわれた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです(消安法第32条の3)。

「無料修理保証期間」とは異なるのでご注意ください。(無料修理保証期間は無料修理保証書を参照願います)

<設計標準使用期間の算定の根拠>

本製品の設計標準使用期間は、次のように設定しています。

- 1) 始期……製造年月
- 2) 終期……JIS S 2071・JIS S 2072の「標準使用条件」に基づいて想定した以下の使用条件にて、当社において耐久試験等をおこない、その結果算出された数値等に基づいて、「経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないこと」を確認した時期

■使用条件(給湯)

項目	条件
家族構成	4人世帯
用途	台所・洗面・シャワー・湯はり
季節	中間期(春・秋)
気温・湿度	20℃・65%
給水温度	15℃
出湯温度	40℃
1日使用量	456リットル
1日使用時間	1時間
1年使用日数	365日

■使用条件(ふろ)

項目	条件
家族構成	4人世帯
用途	ふろの沸き上げ・追いだき
季節	中間期(春・秋)
気温・湿度	20℃・65%
給水温度	15℃
沸き上がり温度	40℃
入浴回数	毎日
沸き上がり回数	1回/1日
追いだき回数	3回/1日
浴槽水量	180リットル

※「使用条件」は、弊社における代表的な製品の条件を記載しています。製品によっては使用条件が異なります。

<ご注意ください>

使用頻度・使用環境・設置場所が標準的な使用条件と異なる場合、または業務用等本来の目的以外の方法で使用された場合は、本体に記載の設計標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。これに該当するような場合は、弊社窓口にご連絡ください。

● 点検について

法定点検は、ノーリツまたはノーリツが委託した事業者がおこないます。

【点検お知らせ機能搭載について】

一般的な使用で10年相当使用すると、点検時期になったことをお知らせします。(P57「888」)

【点検の内容について】

- 特定保守製品について、点検期間中に点検基準に従って実施する有料の法定点検です。
- 点検基準は消安法省令に定められており、製品区分ごとに点検項目・点検内容が定められています。
- 点検の結果は、点検結果表にてお知らせします。
- 点検の結果、不適合となった場合には可能な限りの選択肢をお知らせします。この場合、整備（修理を含む）をおこなって使用を継続するかどうかはお客様の判断となります。

【点検の料金について】

点検料金は、お客様にご負担いただきます。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用(有料)が発生いたします。

点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。

なお、点検料金の設定の基準等や、点検要請に対して速やかに対応できるように全国に配置しておりますサポート拠点については、下記のアドレスからご覧いただけます。

<https://www.noritz.co.jp/aftersupport/hosyu/index.html>
インターネットでご確認できない場合は、弊社窓口にご連絡ください。

【本製品の点検の結果必要となると見込まれる整備用部品の保有期間】

整備用部品とは、法定点検の結果、不備が認められた場合に、安全性を確保(回復)させるために必要な部品であり、補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)とは異なります。

- (1) 点火・消火装置に関する部品：製造打切後11年
点火プラグ・イグナイター
- (2) 水・湯・燃料通路に関する部品：製造打切後11年
サーミスター・パッキン・Oリング
- (3) 安全装置に関する部品：製造打切後11年
感震器・ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ・オイルセンサー・フレームロッド

※補修用性能部品の保有期間はP58をご覧ください。

【本製品の日常におこなうべき点検・お手入れ】

P46～48に従って、おこなってください。

【任意の定期点検について】

P49をご覧ください。

絵表示の説明

- ❓ こんなときは(状況)
 - こんなことが考えられます(原因)
 - こうしてください(処置)

お湯・シャワー

❓ 給湯栓を開いてもお湯が出てこない、お湯にならない

- リモコンに3桁の英数字が点滅していないか確認する。
→点滅していれば、P56～57を確認し、必要な処置をする。
- オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていない。
→送油バルブ・給水元栓を全開にする。
- 断水している。
→復旧を待つ。
- 給湯栓が充分開いていない。
→給湯栓を充分に開ける。
- 灯油がなくなっている。
→灯油を補充し、運転スイッチを「切」「入」する。
- 機器の入水部分のフィルターにゴミなどが詰まり、給湯栓から出るお湯の量が減る(1分間に約2L以下)と消火するため、お湯になりません。
→P47の方法で水抜き栓のフィルターをお手入れする。
- 凍結している。
→P43「凍結してお湯(水)が出ないとき」を確認し、必要な処置をする。
- 送油経路に空気が残っている。
→空気抜きをする。(P12)
- 夏場などの水温が高いときは、ぬるいお湯を少量出そうとすると、お湯になりません。
→給湯温度を上げるか、給湯栓をもっと開いて使用する。
- 予熱中(運転ランプ点滅中)は、お湯が出ません。
→異常ではありません。
予熱完了(運転ランプ点灯)してから使用する。

❓ 給湯栓を絞ると水になった

- 給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約2L以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
→異常ではありません。

❓ お湯がぬるい

- サーモスタット式混合水栓の場合は、リモコンの給湯温度をハンドルの温度より約10℃高く設定すると、ちょうどよくなります。
→異常ではありません。

❓ 熱くなったりぬるくなったり温度が安定しない

- 夏場などの水温が高いときは、ぬるいお湯を少量出そうとすると、温度が安定しません。
→給湯温度を上げるか、給湯栓をもっと開いて使用する。

❓ 設定温度より熱いお湯が出る

- 夏場などの水温が高いときは、ぬるいお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。
→給湯栓をもっと開いて使用する。
- 少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。
→もう少し給湯栓を開いて使用する。
- 水抜き後の再使用时や、機器設置後の使いはじめに、水抜き栓が充分閉まっていない状態でお湯を使うと、設定温度より高い温度のお湯が出ることがあります。
→P56の故障表示「161」の処置をする。

❓ 給湯栓から出るお湯の量が変化する

- お湯を使用中に、他の場所でお湯を使用したりふる保温や追いだきをする、お湯の量が減る場合があります。
→異常ではありません。
他の場所での使用をやめたり、ふる保温や追いだきが終わると、元に戻ります。
- 水道の圧力や配管条件によっては、お湯の量が変化する場合があります。また、水栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、お湯の量が変化するものがあります。
→異常ではありません。

❓ 給湯栓から出るお湯の量が少ない

- 機器の入水部分のフィルターにゴミなどが詰まっている。
→P47の方法で水抜き栓のフィルターをお手入れする。

❓ お湯が白くにごって見える

- 水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。
→異常ではありません。

お風呂

- ❓ 沸かしはじめに、浴槽の循環アダプターから「ボコ、ボコ」と空気の出る音がある
- お風呂の配管などにたまった空気が出る音です。
→異常ではありません。

- ❓ お風呂のお湯がぬるい、お風呂のお湯が熱い
- 浴槽の循環アダプターのフィルターに、ゴミや毛髪などが詰まっている。
→P48の方法でお手入れする。
 - 浴槽の循環アダプターのフィルターが確実に取り付けられていない。
→P48の方法で確実に取り付ける。
 - 前日などの残り湯(水)があるときは、その分だけ設定したお湯はり温度よりぬるくなります。
→異常ではありません。

- ❓ 設定したお湯はり湯量より多くお湯はりされてしまう
- 残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴槽に残っている湯(水)の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。
→異常ではありません。

- ❓ 設定したお湯はり湯量より少なくお湯はりされてしまう
- お湯はり中に他の場所でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの量が少なくなります。
→異常ではありません。

- ❓ ふろ保温・追いだきができない、ふろ保温・追いだきが途中で停止した
- 浴槽の循環アダプターのフィルターに、ゴミや毛髪などが詰まっている。
→P48の方法でお手入れする。
 - ポンプの呼び水をしていない。
→ポンプの呼び水をする。(P14)

- ❓ 追いだき時、浴槽の循環アダプターから出るお湯の温度が変化する
- しくみ上、断続的に燃焼と消火をくりかえすことがあります。
→異常ではありません。

- ❓ お風呂を使用していないのに浴槽の循環アダプターからお湯(水)が出る
- 凍結予防のためポンプが作動し、配管に残っている水が循環アダプターから出る場合があります。
→異常ではありません。
 - お湯を使うと、機器内があたためられて、配管に残っている水が循環アダプターから出ることがあります。
→異常ではありません。

- ❓ 追いだきしてもふろ保温温度が上がらない
- ふろ保温温度の上限を設定している。
→ふろ保温温度の上限の設定を確認する。(P41の番号20)

- ❓ ふろ保温や追いだきがすぐに始まらない
- 予熱中(運転ランプ点滅中)は、これらの運転は始まりません。
→異常ではありません。
予熱完了(運転ランプ点灯)してから使用する。

機器全般

- ❓ 排気口・給排気筒トップから湯気(白い煙のようなもの)が出る
- 冬に吐く息が白く見えるように、排気ガスの水蒸気が白く見えます。
→異常ではありません。

- ❓ 運転中にときどき「ビー」という音がする
- 灯油をくみ上げるために、電磁ポンプが作動している音です。
→異常ではありません。

- ❓ 運転中にときどき「カチッ」という音がする
- しくみ上、音が出ます。
→異常ではありません。

- ❓ 給湯栓を閉めたときに「パキパキ」という音がする
- 熱交換器内で圧力が上がり、一時的に温度が上がるため、音がします。
→異常ではありません。

- ❓ 機器から水漏れしている
- 機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置がはたらき、過圧防止安全装置付の水抜き栓から水滴が落ちることがあります。屋内設置の機器で排水処理されていない場合は、販売店に相談してください。
→異常ではありません。

- ❓ 浴槽の循環アダプターから熱いお湯や湯気が出たり、循環アダプターのまわりが高温になったりする
- お湯を使用すると、ふろ配管に残っている水があたためられ、お湯や湯気になって出ることがあります。
→異常ではありません。

(つづく)

機器全般(つづき)

? 使用していないのに音がする

- 【運転を停止しても、しばらくの間機器から音がする場合】
【運転スイッチを「入」「切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくするとクックッ、クーという音がする場合】
再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。
→異常ではありません。
- 【機器からウーンという音がする場合】
ポンプが自動的に作動する音です。
 - ・追いだき終了後(お湯をませるため)
 - ・気温が低いとき(凍結予防のため)
 →異常ではありません。
- 【屋内設置形の場合】
凍結予防のためにファンが作動する音です。
→異常ではありません。

? 水が青く見える 浴槽や洗面台が青く変色した

- 水中に含まれる微量の銅イオンと、人体のあかやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、浴槽や洗面台が青く着色することがあります。
→こまめに掃除をして湯あかやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。

リモコンの表示や画面など

? 運転ランプが点灯しない

- 電源プラグが抜けている。
→電源プラグを確認する。

? 運転スイッチが勝手に「切」になる

- 省電力タイマー(P41の番号26)を設定していると、自動的に運転スイッチが「切」になります。
→異常ではありません。

? 時計表示が「- : -」になっている

- 停電のあとや電源プラグを抜いたあとは「- : -」になる場合があります。
→時計をあわせ直す。(P20)

? いつのまにか運転スイッチが「入」になっている

- 予熱予約(P32)をすると、自動的に運転スイッチが「入」になります。
→異常ではありません。

? 画面表示がいつのまにか消えている

- リモコンの節電のため、「表示の節電」機能を備えています。お湯を使わないまま、またはスイッチを押さないまま約10分※(浴室リモコンでは、おふろの機能を使った場合約1時間)たつと画面表示が消えます。
→お湯を使ったり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
- 省電力タイマーを設定していると、自動的に運転スイッチが「切」になります。(P3)
→省電力タイマーを解除する。(P41の番号26)

? 表示の節電の状態にならない

- ユーザー設定の番号2が「2」が「3」になっている。
→「1」にする。(P40)
- 給湯温度を60℃に設定している場合や、ふろ保温ランプ点灯中は、表示の節電はしません。
→異常ではありません。
- 日中でも低い気温が続いて凍結予防運転が連続してはたらいた場合、表示の節電にならないことがあります。
→異常ではありません。

? スイッチを押しても、そのスイッチの動作をしないときがある

- 画面が消えているとき(表示の節電中)にスイッチを押すと、優先スイッチや音量スイッチなど、スイッチによっては表示の節電の解除のみするものがあります。
→異常ではありません。

? 炎マークが点灯したり、消灯したりする

- しくみ上、断続的に燃焼と消火をくりかえすことがあります。
→異常ではありません。

? ❄️ マークが点灯している

- 凍結予防のためポンプやファンが作動しているときに点灯します。
→異常ではありません。

? スイッチや表面のビニールが破れてきた、はがれてきた、浮き上がって空気が入っている

- 表面のビニールは保護シートです。はがさずに使用してもはがして使用してもかまいません。はがさずに使用した場合は、よく触れる部分などが破れてきたりはがれてきたりしますが、そこからリモコンに水が入って故障することはありません。
→気になる場合は保護シートをはがす。

❓ そんなに使ってないはずなのに**OVER**の表示が出る

- 【お湯の使用量は今までと変わらないのに出る場合】
気温が低くなると水温が下がり、灯油の使用量が増えるため、**OVER**が出やすくなります。
- 【入居後や機器設置後の使いはじめの場合】
機器の設置後～前日までの使用分の平均が目標値になるため、今日の使用量がそれを超えると**OVER**が出ます。
- 【旅行などでしばらく使わなかった場合】
過去2週間の使用量がない(または少ない)ため、**OVER**が出ます。
→いずれの場合も異常ではありません。数日間使って灯油の使用量が目標値(過去2週間の使用量の平均)を下回ると、**OVER**が消えます。

❓ 設定量までお湯はりしてもお湯はりメロディが鳴らない

鳴るタイミングがずれている

- 次のような場合は、お湯はりメロディは鳴りません。
 - お湯はり湯量を「990L」に設定している場合。
 - 音量を「0」に設定している場合。
 - お湯はり中に、台所リモコンで優先を切り替えるため運転スイッチを「切」「入」した場合→異常ではありません。
- 設定した湯量分お湯が連続して出ると、お湯はりメロディが鳴るしくみになっています。お湯はり中に台所やシャワーでお湯を使うと、設定した湯量になる前にお湯はりメロディが鳴ります。
→異常ではありません。
- サーモスタット式混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるため、設定したお湯はり湯量より水の分だけ多いところでお湯はりメロディが鳴ります。
→異常ではありません。

エネルギー

❓ 【パルス出力対応の水道メーターがある場合】 リモコンに表示する水道使用量が、水道局の明細書より著しく少ない

- パルス出力対応の水道メーターの使用が長期にわたる場合、水道メーターがパルスのデータを正しく出力できなくなっている可能性があります。
→改善するためには、水道メーターの交換が必要です。(水道メーターを設置した会社にお問い合わせください)

❓ 【電力測定ユニットがあり、蓄電池を使用している場合】 使用電力量の表示が、実際に使っている電力量より多い(または少ない)

- 蓄電池が充電または放電しているときは、家庭内で使用している電力量より多く表示されたり少なく表示されたりすることがあります。
→異常ではありません。

温度が変えられない

❓ 給湯温度の調節ができない

- 操作しているリモコンが優先になっていない。
→優先切替する。(P23)

❓ 給湯温度の設定がある温度以上、上げられない

- 給湯・シャワーの温度を制限している。
→給湯・シャワーの温度の上限の設定を確認する。(P40の番号11)

❓ 風呂保温温度の設定がある温度以上、上げられない

- 風呂保温温度や沸き上がりの温度を制限している。
→風呂保温温度の上限の設定を確認する。(P41の番号20)

リモコンに3桁の英数字が点滅している

●不具合が生じたとき、故障表示が点滅します。下表に応じた処置をしてください。

台所リモコンの表示例



点滅

浴室リモコンの表示例



点滅

お客さまで対処できるもの

故障表示	原因	処置
011	連続60分以上給湯した	①給湯栓を閉める。 ②運転スイッチを「切」にし、再度「入」にして使用する。
012	連続90分以上追いだきした	①運転スイッチを「切」にし、再度「入」にする。 ②浴槽のお湯の温度が高温になっている場合は、安全のため点検を受ける。
100	対震自動消火装置の作動	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。 (地震による場合は機器の設置場所へ行き、周囲の可燃物、機器の損傷、灯油漏れ、水漏れがないか確認してから操作してください)
110 120	●燃焼制御装置の非検知 ●灯油切れの可能性がります	①運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしたあと、給湯栓を開いて表示が出なければ正常。 ②上記操作後も表示が出る場合は、オイルタンクの残油量を確認し、減っていれば給油する。(P12)その後、再度①の操作をする。
161	お湯の温度が設定温度より異常に上がりすぎた	①給湯栓を閉める。 ②運転スイッチを「切」にし、再度「入」にする。 ③給湯栓をもっと開いて使用する。
260	フロートスイッチの作動	オイルタンクの灯油がなくなっていないか、また、送油バルブが閉まっていないかを確認する。
562	断水などで水が通っていない(ふろ保温、追いだきのとき)	①給水元栓が開いているか、断水していないか(水栓から水が出るか)を確認する。 ②運転スイッチを「切」にし、通水を確認してから再度「入」にして使用する。
632	おふろの追いだきのとき、浴槽のお湯(水)が足りない	①運転スイッチを「切」にし、再度「入」にする。 ②浴槽のお湯(水)を循環アダプターの上まで入れてから追いだきをする。
	循環アダプターのフィルターが詰まっているか、正常に取り付けられていない	①循環アダプターのフィルターを確認する。(詰まっていないか、正常に取り付けられているか) ②運転スイッチを「切」にし、再度「入」にして使用する。
	発泡系入浴剤の使用によるふろポンプの循環不良	もう一度呼び水をする。 ※発泡系入浴剤の使用をお控えください。
LL	【別売品の給油検知装置を設置している場合】 オイルタンクへの給油お知らせ	オイルタンクへ給油して、表示が出なければ正常。
		残油量が多いのに表示が出る・残油量が少ないのに表示が出ない場合は、給油検知装置の調整をする。(P57)

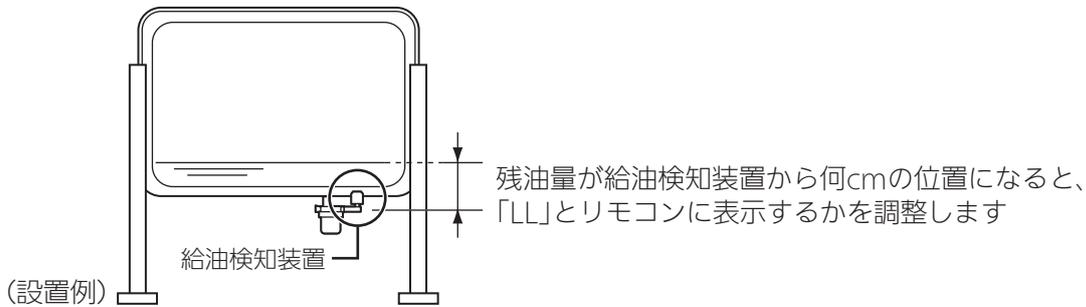
以下の場合、販売店または弊社窓口にご連絡ください

故障表示	原因
661	水量を調節する装置に異常が生じた(しばらく使用はできますが、必ず販売店または弊社窓口にご連絡ください) ※ただし、お湯の出始めやお湯の量を変更したときに、設定温度よりも熱いお湯が出たり、高温のお湯が出る場合は、すぐに使用をやめ、販売店または弊社窓口にご連絡ください。
800	灯油漏れの可能性があるため(オイルタンクの送油バルブを閉めてから、販売店または弊社窓口にご連絡ください)
888	一般的な使用で10年相当使用されたため「点検お知らせ機能」がはたらいてお知らせ 【故障ではありません】 機器は使用できますが、安全・安心のために点検(有料)をご検討のうえ、下記のお問い合わせ先までお申し込みください。 お問い合わせ先 0120-911-026<ガイダンス番号0番> (受付時間/365日24時間)

- ・「お客さまで対処できるもの」以外の表示が出る時
- ・「お客さまで対処できるもの」の処置をしてもなお表示がくりかえし出るとき
- ・その他、わからないとき

給油検知装置FC-1(別売品)の調整方法

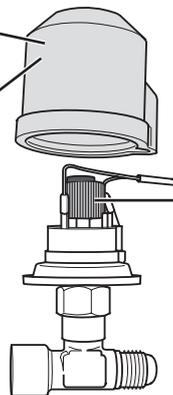
オイルタンクの送油バルブ付近に給油検知装置FC-1が付いている場合、設定した残油量になるとリモコンに「LL」表示が出て給油時期をお知らせしますが、残油量が多いのに表示が出たり、少ないのに表示が出なかったりする場合は、以下の手順で給油検知装置の調整をしてください。



①ゴムカバーを外す

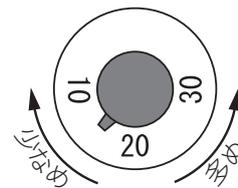
③調整後、ゴムカバーを元通り取り付ける

※給油検知装置は防水型ではありません。
ゴムカバーが確実に取り付けられていないと、雨水などが入って給油検知装置が故障する原因になります。



②調整つまみで調整する

<調整つまみを上から見た図>



【残油量が多いのに お知らせ表示が出た場合】
目盛を「10」側に回す。(残油量が少なめで表示が出ます)
【残油量が少ないのに お知らせ表示が出ない場合】
目盛を「30」側に回す。(残油量が多めで表示が出ます)

※送油配管内部に空気が入っていると、お知らせ表示を出す位置がばらつくことがあります。(空気抜きの方法→P12)
※給油検知装置は傾いて取り付けられている場合がありますが、性能上、問題ありません。

サービスを依頼される時

P52～57の「故障・異常かな?と思ったら」「リモコンに3桁の英数字が点滅しているとき<故障表示>」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または弊社窓口にご連絡ください。

● 連絡していただきたい内容

- 製品名………機器に貼り付けてある銘板をご覧ください
- お買い上げ日……保証書をご覧ください
- 異常の状況……故障表示など、できるだけくわしく
- ご住所・ご氏名・電話番号
- 訪問ご希望日

● 修理料金のしくみ

修理料金は **技術料** + **部品代** + **出張料** などで構成されています。

技術料は 製品の場所へ技術者を派遣するための料金です。
 部品代は 修理に使用した部品代金です。
 出張料は 診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。

※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。
 (工事店にご相談ください)

保証について

この取扱説明書には保証書がついています。

必ず販売店・お買い上げ日などが記入されていることを確認してください。

保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後7年(BL品は10年)です。

なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

BL認定品について

BL認定品には、機器にBLマークを表示しています。

BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。

ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。



主な仕様

製 品 名	OTQ-G4706W-RC BL OTQ-G4706W-RC	OTQ-G4706WS-RC BL OTQ-G4706WS-RC	OTQ-G4706WFF-RC BL OTQ-G4706WFF-RC	OTQ-G3706WFF-RC BL OTQ-G3706WFF-RC
型 式 の 呼 び	OTQ-G4701W (OTQ-G4701AW)	OTQ-G4701WS (OTQ-G4701AW)	OTQ-G4701WFF (OTQ-G4701AWFF)	OTQ-G3701WFF
種 類	燃 焼 方 式	気化式		
	給 排 気 方 式	屋外用開放形	屋内用密閉式強制給排気形	
	給 水 方 式	水道直結式		
	加 熱 形 態	瞬間形		
	加 熱 方 式	2缶2水路式(1バーナ)		
循 環 方 式	強制循環式			
点 火 方 式	高圧放電式			
使 用 燃 料	灯油(JIS1号灯油)			
燃 料 消 費 量	給 湯 側	53.8kW(5.2L/h)		43.0kW(4.2L/h)
	ふ ろ 側	16.5kW(1.6L/h)		
出 力	ふ ろ 側	15.0kW		
湯 沸 効 率	ふ ろ 側	82.0%		
連 続 給 湯 効 率	給 湯 側	86.5%		
連 続 給 湯 出 力	給 湯 側	46.5kW		37.2kW
熱 交 換 器 容 量	給 湯 側	1.3L		
	ふ ろ 側	0.5L		
使 用 圧 力	1MPa以下			
伝 熱 面 積	給 湯 側	1.13m ²		
	ふ ろ 側	1.13m ²		
外 形 寸 法	高さ690mm 幅470mm 奥行210mm		高さ600mm 幅470mm 奥行210mm	
質 量	32kg		30kg	
電 源 電 圧 及 び 周 波 数	AC100V 50/60Hz			
定 格 消 費 電 力	給 湯 使 用	点火時：980W/980W 燃焼時：85W/85W		点火時：980W/980W 燃焼時：60W/60W
	給 湯・ふ ろ 同 時 使 用	点火時：790W/820W 燃焼時：165W/190W		点火時：790W/820W 燃焼時：145W/170W
	凍 結 予 防 ヒ ー タ ー	139W		
待 機 時 消 費 電 力	2.8W※			
給 排 気 筒 の 型 式 の 呼 び	-		FF-101A,FF-102A,FF-103W,FF-105	
給 排 気 筒 の 呼 び 径	-		D80	
給 排 気 筒 の 壁 貫 通 部 の 孔 径	-		120mm	
排 気 温 度	260℃以下			
騒 音 レ ベ ル	51dB(Aレンジ)	46dB(Aレンジ)	40dB(Aレンジ)	
基 準 浴 槽	200L			
待 ち 時 間	約1分40秒			
電 流 ヒ ュ ー ズ	20A			
温 度 ヒ ュ ー ズ	バーナー温度ヒューズ：184℃、缶体温度ヒューズ：184℃			
安 全 装 置	対震自動消火装置、停電安全装置、燃焼制御装置、空だき防止装置(ふろ)、電動機の過負荷保護装置			
そ の 他 の 装 置	漏電安全装置、凍結予防ヒーター、油漏れ検知装置			
付 属 品	台所リモコン・浴室リモコンおよび取付部材、袋ナット		ゴム製送油管、ゴム製送油管締付バンド、タケノコパイプセット、浴室リモコンおよび取付部材、操作部カバー、袋ナット	

※本製品は気化式のため、運転スイッチ「入」での未使用時の消費電力は75W

リモコン音声一覧

●スイッチ操作をおこなったときの音声や、スイッチ操作をしなくても出る音声について、一例を記載しています。

機器の動き	操作と条件		音声(抜粋)
運転「入」	運転スイッチ「入」(予熱開始)		(運転「入」音) 予熱します
	予熱完了	そのとき給湯温度が55℃以下だったら	(ピピピ)使用できます
		そのとき給湯温度が60℃だったら	(ピピピ)使用できます 熱いお湯が出ます
時計あわせ	時計あわせスイッチを押す	押したとき	時刻が変更できます 給湯温度スイッチで変更してください
		時計あわせ完了	設定しました
お湯の温度変更 お湯はり温度変更	給湯温度スイッチで変更	給湯温度55℃以下に変更	給湯温度を○度に変更しました
		給湯温度60℃に変更	熱いお湯が出ます 給湯温度を60度に変更しました
		そのリモコンが優先でなかったら	(ピピピ)
優先	優先スイッチ「入」		給湯温度が変更できます
	優先スイッチ「切」		給湯温度が○度に変更されました
	優先切替後、給湯温度が60℃になったとき		熱いお湯が出ます 給湯温度が60度に変更されました
お湯はり湯量変更 (お湯はりメロディ)	お湯はり湯量スイッチで変更	押したとき	おふろの湯量を変更できます
		40~400Lに変更すると	おふろの湯量を○リットルに変更しました
		990Lに変更すると	お湯はりのお知らせをなしに変更しました
		設定した湯量になると	(お湯はりメロディ)給湯栓を閉めてください
ふろ保温	ふろ保温スイッチを押す	押したとき	おふろを沸かしませず
		ふろ保温完了	(沸き上がりメロディ)おふろが沸きました
保温時間変更	保温時間スイッチを押す	押したとき	おふろの保温時間を変更できます
		1h~9hに変更すると	保温時間を○時間に変更しました
		oFに変更すると	保温なしに変更しました
ふろ温度変更	ふろ温度スイッチで変更		おふろの温度を○度に変更しました
追いだき	追いだきスイッチ「入」		追いだきをします
	台所リモコンで追いだきしたときの追いだき完了		(沸き上がりメロディ)おふろが沸きました
予熱予約	予熱予約スイッチ「入」		予熱の予約ができます 給湯温度スイッチで変更してください
		時計あわせをしていなかったら	(ピピピ)
	予熱予約スイッチを押して予約完了		予熱の予約を設定しました
	予熱予約解除		予熱の予約を解除しました
音量変更	音量スイッチを押すと		音量が変更できます
	音量スイッチまたは給湯温度スイッチで変更		音量を○に変更しました

機器の動き	操作と条件	音声(抜粋)
呼び出し	呼出スイッチ「入」	(呼び出し音) ※浴室リモコンで呼出スイッチを「入」にしたときは、台所リモコンでは呼び出し音のあとに「お風呂で呼んでいます」とお知らせします。
エネルギー	エネルギースイッチ「入」	〇〇の今日の実績です
	エネルギースイッチ「切」	(ピピッ)
	今日/昨日スイッチを押して切り替え	〇〇の昨日の(今日の)実績(目標)です
	給湯温度スイッチを押して実績と目標を切り替え	〇〇の今日の(昨日の)実績(目標)です

設定範囲と初期設定

項目	初期設定	設定範囲
給湯温度〈℃〉	40	32、35、37～48(1℃刻み)、50、55、60
ふろ温度〈℃〉	40	33～48
保温時間〈h(時間)〉	4	oF(保温なし)、1、2、3、4、5、6、7、8、9
お湯はり湯量〈L〉	180	40～260(20L刻み)、300、350、400、990(お知らせなし)
リモコンの音量	2	0(消音)、1(小)、2(中)、3(大)
時計表示	(未設定時)	— : —

据え付け場所の選定および標準据え付け例

据え付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと(安全のため必ずお守りください)」をお読みになり、販売店または据え付け業者とよくご相談してください。また「標準据え付け例」については、工事説明書の「標準設置図例」をご確認ください。

騒音防止について

設置場所の選びかた次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう、充分配慮して設置場所を選択してください。(販売店とよく相談してください)

- 夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の使用には気を配りましょう。
- 隣家からなるべく離して設置してください。
- ブロック塀などが近くにある場合は、音が反響して大きくなる場合がありますのでご注意ください。

据え付け後の確認

据え付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと(安全のため必ずお守りください)」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据え付けられているかどうかを確認してください。

試運転

「試運転」については、工事説明書の「試運転」をご確認ください。

無料修理保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

お客さま	ご芳名 様		BL認定品	製品名 OTQ-G4706W-RC BL OTQ-G4706WS-RC BL OTQ-G4706WFF-RC BL OTQ-G3706WFF-RC BL
	ご住所			
販売店	店名	扱 者 印	製品名 OTQ-G4706W-RC OTQ-G4706WS-RC OTQ-G4706WFF-RC OTQ-G3706WFF-RC	
	住所			
	電話番号			
お買い上げ日		年 月 日		

〈保証対象部分・保証期間〉

- 保証対象部分：機器本体、リモコン
- 保証期間：お買い上げ日より1年間(BL認定品は2年間)。但し、熱交換器については3年間とします。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、弊社が無料修理致します。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、弊社窓口にご連絡の上、修理に際して本書をご提示ください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店または、弊社窓口にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理の依頼ができない場合には、弊社窓口にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書によらない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買い上げ後の専門業者以外による取付場所の移動、落下等による故障及び損傷。
 - 建築躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象。
 - 火災、塩害、地震、風水害、雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電流、異常電圧、異常電磁波、異常周波数、ねずみ・鳥・くも・昆虫類等の侵入及びその他の天災、地変による故障及び損傷。
 - 水道管の錆び等異物の流入による故障及び損傷。
 - 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障及び損傷。
 - 工事説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障及び損傷。
 - 業務用(喫茶店、理美容院、飲食店、事務所等)でご使用になった場合。
 - 機器に表示してある以外の使用燃料・使用電源(電圧・周波数)でご使用になった場合。
 - 温泉水、井戸水、地下水を給水したことに起因する不具合。
 - 排水不良等による機器の冠水等に起因する不具合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

保証責任者 **株式会社ノーリツ** 神戸市中央区江戸町 93 番地

■お客さまへ

- この保証書をお受け取りになる時にお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入・捺印してあることを確認してください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては、取扱説明書の「アフターサービスについて」の項をご覧ください。
- この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

修理・点検・商品についての
お問い合わせは・・・

株式会社ノーリツ
コンタクトセンター

通話料金無料

0120-911-026

携帯電話からのお問い合わせは・・・ 0570-064-910 (通話料がかかります)

お問い合わせについて

■PHS・IP電話等でつながらない場合は、一般電話・携帯電話からおかけ直しください。 ■お問い合わせの内容確認と正確な対応のため、録音させていただく場合がございます。 ■正確な対応のため、発信電話番号通知をお願いしております。非通知設定をご利用の場合は、はじめに「186」をダイヤルし発信電話番号通知のご協力をお願いいたします。

(270720)